

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		憲法		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	後期	2	講義
担当教員	上本昌昭			
実務経験	-			

授業概要
<p>保育士等には乳幼児を育むチームの一員として、保護者や、保健医療・福祉・教育といった関連職種と連携して仕事を行う能力が求められます。人権などの「憲法」の知識は、多職種連携の下、仕事を行う際の「共通の基盤」となります。憲法を学ぶことで、乳幼児を育むチームの一員として必要な「共通の基盤」を身につけます。</p>
到達目標
<p>憲法が保障する「人権」への理解は、乳幼児を育むチームの一員として仕事をする上で、最も重要な内容です。また、この人権が確実に保障されるために、憲法は「国の仕組み」も定めています。そこから、この授業を通じて、憲法が定めている「人権」や「国の仕組み」について正確に説明できるようになることが目標となります。</p>
準備学習
<p>事前学習：配布資料に目を通して、講義のテーマを把握し、わからない漢字は調べておく。 事後学習：各回で提示する確認テストを解き直してみる。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	<p>毎回レジュメ・資料を配布する。</p>
--------	------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス／法とは何か	憲法を学ぶ理由／法と憲法との関係について理解する。
2	憲法とは何か？	憲法はなぜあるのか？／「憲法」という言葉の意味について理解する。
3	憲法の三大原則	国民主権、平和主義、基本的人権の尊重といった原則について理解する。
4	基本的人権の種類	基本的人権にはどのようなものがあるか／「新しい人権」とは何かを理解する。
5	法の下での平等	「平等」の意味すること／差別解消の仕組みを理解する。
6	精神的自由①	思想良心の自由／信教の自由と児童虐待・共生社会との関連を理解する。
7	精神的自由②	表現の自由の保障内容とこどもの意見表明権の関係を理解する。
8	経済的自由／社会権	経済的自由とその「厳しさ」に備えるための社会保障について理解する。
9	身体的自由	身体的自由の保障内容と少年事件の手続きを理解する。
10	権力分立の原理	国会・内閣・裁判所の役割とそれらの関係について理解する。
11	立法と行政	権力分立の詳細、特に議院内閣制について理解する。
12	司法	司法権の意義／司法権の独立／司法権の限界と違憲審査制を理解する。
13	平和主義と日本国憲法の成立過程	憲法第9条の解釈とその背景にある日本国憲法の成立過程を理解する。
14	全体の振り返り	憲法で規定されている各種人権と国の仕組みについて振り返る。
15	まとめ	科目試験を実施する。

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	憲法			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	後期	2	講義
担当教員	上本昌昭			
実務経験	-			

授業概要
<p>保育士等には乳幼児を育むチームの一員として、保護者や、保健医療・福祉・教育といった関連職種と連携して仕事を行う能力が求められます。人権などの「憲法」の知識は、多職種連携の下、仕事を行う際の「共通の基盤」となります。憲法を学ぶことで、乳幼児を育むチームの一員として必要な「共通の基盤」を身につけます。</p>
到達目標
<p>憲法が保障する「人権」への理解は、乳幼児を育むチームの一員として仕事をする上で、最も重要な内容です。また、この人権が確実に保障されるために、憲法は「国の仕組み」も定めています。そこから、この授業を通じて、憲法が定めている「人権」や「国の仕組み」について正確に説明できるようになることが目標となります。</p>
準備学習
<p>事前学習：配布資料に目を通して、講義のテーマを把握し、わからない漢字は調べておく。 事後学習：各回で提示する確認テストを解き直してみる。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	<p>毎回レジュメ・資料を配布する。</p>
--------	------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス／法とは何か	憲法を学ぶ理由／法と憲法との関係について理解する。
2	憲法とは何か？	憲法はなぜあるのか？／「憲法」という言葉の意味について理解する。
3	憲法の三大原則	国民主権、平和主義、基本的人権の尊重といった原則について理解する。
4	基本的人権の種類	基本的人権にはどのようなものがあるか／「新しい人権」とは何かを理解する。
5	法の下での平等	「平等」の意味すること／差別解消の仕組みを理解する。
6	精神的自由①	思想良心の自由／信教の自由と児童虐待・共生社会との関連を理解する。
7	精神的自由②	表現の自由の保障内容とこどもの意見表明権の関係を理解する。
8	経済的自由／社会権	経済的自由とその「厳しさ」に備えるための社会保障について理解する。
9	身体的自由	身体的自由の保障内容と少年事件の手続きを理解する。
10	権力分立の原理	国会・内閣・裁判所の役割とそれらの関係について理解する。
11	立法と行政	権力分立の詳細、特に議院内閣制について理解する。
12	司法	司法権の意義／司法権の独立／司法権の限界と違憲審査制を理解する。
13	平和主義と日本国憲法の成立過程	憲法第9条の解釈とその背景にある日本国憲法の成立過程を理解する。
14	全体の振り返り	憲法で規定されている各種人権と国の仕組みについて振り返る。
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		情報リテラシー		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	前期	2	講義
担当教員	米田 朝香			
実務経験				

授業概要	
<p>テキスト教材を中心に情報システムの発展、コンピュータ（ハードウェア・ソフトウェア）、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深めます。また、演習を通じ、パソコンの基本操作、ワープロソフトの基本操作、表計算ソフトの基本操作を学習します。</p>	
到達目標	
<p>情報システムの発展と役割について理解を深め、これからの情報化社会を生きる上で必要となる基礎知識と技術を身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティについて理解し、適切な管理ができるようになる。 ・「コンピュータの機能」「インターネット」「情報モラル」「情報セキュリティ」の概要について理解する 	
準備学習	
<p>日常生活の中で、情報モラル・セキュリティに意識を向け、積極的にICT機器を活用し、WordやExcelなどの操作方法を定着させる。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>	

使用テキスト	「情報リテラシーと処理技術」（配本テキスト）
--------	------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	情報化社会
2	コンピュータの仕組み①	コンピュータの発展
3	コンピュータの仕組み②	ハードウェア
4	コンピュータの仕組み③	ソフトウェア
5	インターネットの仕組み①	情報ネットワーク
6	インターネットsの仕組み②	インターネット
7	情報社会のまとめ	情報システムと情報社会の課題
8	Windwosの基礎	Windwosの基本操作
9	Wordの基礎①	文書作成の基本①（基本操作・書式設定）
10	Wordの基礎②	文書作成の基本②（図形・表・ページ設定）
11	Excelの基礎①	表計算の基本①（基本操作・書式設定）
12	Excelの基礎②	表計算の基本②（計算式・関数・グラフ機能）
13	情報リテラシー	情報モラル・情報セキュリティ
14	保育とICT	教育現場におけるICTの活用と展望について
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		情報リテラシー		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	前期	2	講義
担当教員	米田 朝香			
実務経験				

授業概要	
<p>テキスト教材を中心に情報システムの発展、コンピュータ（ハードウェア・ソフトウェア）、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深めます。また、演習を通じ、パソコンの基本操作、ワープロソフトの基本操作、表計算ソフトの基本操作を学習します。</p>	
到達目標	
<p>情報セキュリティについて理解し、適切な管理ができるようになる。 「コンピュータの機能」「インターネット」「情報モラル」「情報セキュリティ」の概要について理解した上で、それらの知識を活用できるようになる。スクーリング：ワープロ・表計算ソフトの基本操作／情報モラル・情報セキュリティの概要を理解する。</p>	
準備学習	
<p>コンピュータの操作には習熟が必要です。タイピングの練習など積極的に行いましょう。また、文書作成などの課題は、各自復習などで操作を反復し、定着を図るようにしてください。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>	

使用テキスト	授業内で適宜講義資料を配布する。
--------	------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	授業ガイダンス	情報リテラシーとは
2	Wordの基礎①	文字入力の基本
3	Wordの基礎②	書式の設定
4	Wordの基礎③	画像の挿入と装飾
5	Wordの活用①	表の作成と活用
6	Wordの活用②	チラシ形式の文書作成
7	Wordまとめ	Wordの復習と総合演習
8	Excelの基礎①	データ入力の基本とグラフの作成
9	Excelの基礎②	計算方法とセル参照
10	Excelの基礎③	関数の基本
11	Excelの基礎④	関数の応用
12	Excelの基礎⑤	Excelによる名簿管理
13	PowerPoint①	スライド作成の基本
14	PowerPoint②	PowerPointを活用したチラシ作成の基本
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	キャリアデザイン			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	後期	2	講義
担当教員	米田朝香／キャリア支援課（山田萌・大川拓馬・桑山史人） 授業主担当…山田萌			
実務経験	-			

授業概要	
<p>皆さん一人ひとりが保育士としてどのようなキャリア（職業人生）を歩みたいのか、卒業後の進路を共に考えるものです。</p> <p>自分自身のことをよく知るための「自己理解」に焦点を当て、個人ワークを中心に進めます。</p> <p>また、「職業理解」を図るために、児童福祉施設で働く現場の方による講話をオムニバス形式で実施します。</p>	
到達目標	
<p>①自身の興味・能力・価値観を認識し、これまでの経験を振り返ることで、「自己理解」を深める。</p> <p>②自身のことを他者に伝えることができる（自己PRができる）。</p> <p>③保育士として活躍できる場を知り、自分なりの保育観を考える。</p>	
準備学習	
<p>毎回の授業の振り返りを行い、「自己理解」「職業理解」を深める。</p> <p>ゲストスピーカーによる講話前にはその法人について下調べをする。</p> <p>求人検索システムや紙求人、施設ホームページを利用し、進路に関する情報収集をする。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。</p> <p>定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>	

使用テキスト	<p>使用する資料は配付する。</p> <p>【備考】講義教室について 第1回～第3回はAクラス、Bクラスともに各ホームルームにて講義を実施する。 第4回～第15回は2クラス合同で1号館2F教室で講義を実施する。</p>
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	8/27 授業概要の説明、成績評価の説明、2年間のキャリア支援について
2	キャリアとは	9/3 キャリア形成の考え方、自己理解の導入ワーク
3	職業理解①	9/10 株式会社 保育園編（ゲストスピーカーによる講話）
4	職業理解②	9/17 社会福祉法人 保育園編（ゲストスピーカーによる講話）
5	伝わる文章の書き方	9/24 文章をまとめる力を身につける
6	自己理解①	10/1 キャリアの棚卸、キャリアを考える3つの視点
7	自己理解②	10/8 強みを考える
8	自己理解③	10/15 自己PR作成
9	職業理解③	10/22 施設で働く卒業生編（ゲストスピーカーによる講話）
10	職業理解④	10/29 保育園で働く卒業生編（ゲストスピーカーによる講話）
11	ワールドカフェ	11/5 ワールドカフェの手法を使った対話を通じ、保育・キャリアを考える
12	自己理解④	11/12 自己PR発表
13	就職活動に向けて①	11/19 就職活動の進め方／※自己PR発表予備日
14	就職活動に向けて②	11/26 2年次に向けて・本科目の振り返り
15	まとめ	12/3 科目まとめ（全授業に関する論述試験を実施）

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	キャリアデザイン			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	後期	2	講義
担当教員	米田朝香／キャリア支援課（山田萌・大川拓馬・桑山史人） 授業主担当…山田萌			
実務経験	-			

授業概要
<p>皆さん一人ひとりが保育士としてどのようなキャリア（職業人生）を歩みたいのか、卒業後の進路を共に考えるものです。</p> <p>自分自身のことをよく知るための「自己理解」に焦点を当て、個人ワークを中心に進めます。</p> <p>また、「職業理解」を図るために、児童福祉施設で働く現場の方による講話をオムニバス形式で実施します。</p>
到達目標
<p>①自身の興味・能力・価値観を認識し、これまでの経験を振り返ることで、「自己理解」を深める。</p> <p>②自身のことを他者に伝えることができる（自己PRができる）。</p> <p>③保育士として活躍できる場を知り、自分なりの保育観を考える。</p>
準備学習
<p>毎回の授業の振り返りを行い、「自己理解」「職業理解」を深める。</p> <p>ゲストスピーカーによる講話前にはその法人について下調べをする。</p> <p>求人検索システムや紙求人、施設ホームページを利用し、進路に関する情報収集をする。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。</p> <p>定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	<p>使用する資料は配付する。</p> <p>【備考】 講義教室について 第1回～第3回はAクラス、Bクラスともに各ホームルームにて講義を実施する。 第4回～第15回は2クラス合同で1号館2F教室で講義を実施する。</p>
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	8/27 授業概要の説明、成績評価の説明、2年間のキャリア支援について
2	キャリアとは	9/3 キャリア形成の考え方、自己理解の導入ワーク
3	職業理解①	9/10 株式会社 保育園編（ゲストスピーカーによる講話）
4	職業理解②	9/17 社会福祉法人 保育園編（ゲストスピーカーによる講話）
5	伝わる文章の書き方	9/24 文章をまとめる力を身につける
6	自己理解①	10/1 キャリアの棚卸、キャリアを考える3つの視点
7	自己理解②	10/8 強みを考える
8	自己理解③	10/15 自己PR作成
9	職業理解③	10/22 施設で働く卒業生編（ゲストスピーカーによる講話）
10	職業理解④	10/29 保育園で働く卒業生編（ゲストスピーカーによる講話）
11	ワールドカフェ	11/5 ワールドカフェの手法を使った対話を通じ、保育・キャリアを考える
12	自己理解④	11/12 自己PR発表
13	就職活動に向けて①	11/19 就職活動の進め方／※自己PR発表予備日
14	就職活動に向けて②	11/26 2年次に向けて・本科目の振り返り
15	まとめ	12/3 科目まとめ（全授業に関する論述試験を実施）

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		体育（講義）		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	前期	1	講義
担当教員	水原 佐和子			
実務経験	-			

授業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 自身の生活に即した健康課題を考える 身体活動指針、健康日本21、生活習慣病について理解する 健康と運動との関わりを理解する 実技授業を数回含む 	
※授業の進捗状況により、内容を変更する場合があります	
到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> 健康について生活の中でより意識することができるようになる 生活習慣病についての知識を持つ 健康の維持増進における運動の効果を知る 	
準備学習	
適度な運動習慣を持つこと 実技見学時は要レポート提出	
成績評価	
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）	

使用テキスト	適宜配布
--------	------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	授業概要の伝達、生活リズムについて
2	運動実技	運動実技①
3	生活リズム	自律神経と生活・睡眠リズムの理解
4	現代社会と健康課題①	人口・高齢社会・合計特殊出生率
5	現代社会と健康課題②	健康日本21（厚生労働省）とは何か
6	運動実技	運動実技②
7	現代社会と健康課題③	健康日本21（厚生労働省）第3次について
8	ロコモティブシンドローム①	ロコモティブシンドロームとは何か、グループ演習（運動計画立案）①
9	ロコモティブシンドローム②	グループ演習（運動計画立案）②
10	ロコモティブシンドローム③	実技発表
11	運動科学①	身体組成
12	運動科学②	有酸素運動の仕組み
13	運動実技	運動実技③
14	運動科学③	筋力、柔軟性
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		体育（講義）		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	前期	1	講義
担当教員	水原 佐和子			
実務経験	-			

授業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 自身の生活に即した健康課題を考える 身体活動指針、健康日本21、生活習慣病について理解する 健康と運動との関わりを理解する 実技授業を数回含む 	
※授業の進捗状況により、内容を変更する場合があります	
到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> 健康について生活の中でより意識することができるようになる 生活習慣病についての知識を持つ 健康の維持増進における運動の効果を知る 	
準備学習	
適度な運動習慣を持つこと 実技見学時は要レポート提出	
成績評価	
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）	

使用テキスト	適宜配布
--------	------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	授業概要の伝達、生活リズムについて
2	運動実技	運動実技①
3	生活リズム	自律神経と生活・睡眠リズムの理解
4	現代社会と健康課題①	人口・高齢社会・合計特殊出生率
5	現代社会と健康課題②	健康日本21（厚生労働省）とは何か
6	運動実技	運動実技②
7	現代社会と健康課題③	健康日本21（厚生労働省）第3次について
8	ロコモティブシンドローム①	ロコモティブシンドロームとは何か、グループ演習（運動計画立案）①
9	ロコモティブシンドローム②	グループ演習（運動計画立案）②
10	ロコモティブシンドローム③	実技発表
11	運動科学①	身体組成
12	運動科学②	有酸素運動の仕組み
13	運動実技	運動実技③
14	運動科学③	筋力、柔軟性
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	教育原理			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	前期	2	講義
担当教員	林 若子			
実務経験	-			

授業概要
<p>保育者は、子どもが生まれてはじめて出会う「せんせー」です。「先生」とか「教育」というと、「教える」とか「注意する」というような言葉が浮かぶでしょう。しかし、「教育」とはそのような一方的なものではありません。子どもはどう育つのか、何に向けてどう育てるのか、そうした「教育」の基本を学びます。</p>
到達目標
<p>①子どもの発達について基本を理解する ②子どもの権利および保護者の権利と責任を理解する ③日本における公教育の歴史を理解する ④教育の制度を理解する ⑤保育者の役割を理解する</p>
準備学習
<p>・配信資料に目を通す</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	<p>『最新保育小六法・資料集2026』ミネルヴァ書房 『わかる・書ける・使える 保育の基本用語』長島和代編 わかば社 『どの子にもあ～楽しかった！の毎日を』赤木和重・岡村由紀子ほか ひとなる書房</p>
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス 子どもが育つとは・育てるとは①	乳幼児期のあそび
2	子どもが育つとは・育てるとは②	0～2歳児の発達の特徴と保育
3	子どもが育つとは・育てるとは③	「環境による教育」
4	子どもが育つとは・育てるとは④	子どもとつくる～飼育から劇づくりへほか
5	子どもが育つとは・育てるとは⑤	困難を抱えた子の保育
6	どう人間に育てるのか①	「釜石の奇跡」にみる教育のちから
7	どう人間に育てるのか②	戦前の教育・戦後の教育
8	どう人間に育てるのか③	子どもの権利条約を中心に
9	どう人間に育てるのか④	5歳児クラスにみる教育の違い
10	子どもを育てる仕組み①	憲法・教育基本法 教育機会確保法ほか
11	子どもを育てる仕組み②	保育の制度
12	父母の権利と責任	子どもの権利条約にみる基本的な考え方
13	保育者の役割	震災時の保育者と子どもたち
14	科目のまとめ①	
15	科目のまとめ②	

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		教育原理		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	前期	2	講義
担当教員	林 若子			
実務経験	-			

授業概要
<p>保育者は、子どもが生まれてはじめて出会う「せんせー」です。「先生」とか「教育」というと、「教える」とか「注意する」というような言葉が浮かぶでしょう。しかし、「教育」とはそのように一方向的なものではありません。子どもはどう育つのか、何に向けてどう育てるのか、そうした「教育」の基本を学びます。</p>
到達目標
<p>①子どもの発達についての基本を理解する ②子どもの権利および保護者の権利と責任を理解する ③日本における公教育の歴史を理解する ④教育の制度を理解する ⑤保育者の役割を理解する</p>
準備学習
<p>・配信した資料に目を通す</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	<p>『最新保育小六法・資料集2026』ミネルヴァ書房 『わかる・書ける・使える 保育の基本用語』長島和代編 わかば社 『どの子にもあ～楽しかった！の毎日を』赤木和重・岡村由紀子ほか ひとなる書房</p>
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス 子どもが育つとは、育てるとは①	学習の仕方 全国保育士会倫理綱領 子どもの発達
2	子どもが育つとは、育てるとは②	「イヤイヤ期」とはなにか
3	子どもが育つとは、育てるとは③	「環境による教育」
4	子どもが育つとは、育てるとは④	子どもとつくる～飼育から劇づくりへほか
5	子どもが育つとは、育てるとは⑤	「気になる子」の保育
6	どう人間に育てるのか①	「釜石の奇跡」にみる教育のちから
7	どう人間に育てるのか②	戦前の教育、戦後の教育
8	どう人間に育てるのか③	教育の目的：「子どもの権利条約」第29条を中心に
9	どう人間に育てるのか④	5歳児クラスにみる「教育」の違い
10	子どもを育てる仕組み①	憲法。教育基本法 教育機会確保法ほか
11	子どもを育てる仕組み②	保育の制度
12	父母の権利と責任	「子どもの権利条約」前文、第18条ほか
13	保育者の役割	震災時の子どもと保育者
14	科目のまとめ①	
15	科目のまとめ②	

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		保育者論		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	後期	2	講義
担当教員	長谷川 葵月			
実務経験	保育士・園長としての実務経験を有する。			

授業概要	
<p>子どもの育ちを支える保育者の役割や倫理について学ぶとともに、専門性について考察する。また、保育を営む者として、子どもとの関わりに加え、同僚性や保護者、地域との連携、協働の重要性についても考察する。ワークを通して自分の考えを言語化すると共に、他者と主体的に対話的な深い学びを実践することを目指す。</p>	
到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもを「人」として尊重する専門職としての保育者の在り方を理解する 保育者の役割、専門性について考察し、理解する 保育者の連携や協働を多角的に理解する 保育者の倫理や資質向上の重要性とキャリア形成について理解する なりたい保育者像をイメージし、言語化できるようにする 	
準備学習	
<ul style="list-style-type: none"> 授業内で扱う内容やキーワードとなる部分をまとめ、自分の考えを整理する。 保育者や子どもに関する社会動向やニュースに目を通し、自分の考えを持ち、言語化する。 	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』(チャイルド社) 『保育所保育指針解説』(フレーベル館) 『保育者論』(ミネルヴァ書房)
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	保育とは、保育者とは「育ての心」 ころもちとは
2	保育者の制度的位置づけと倫理	保育、教育の基本に関わる法令、位置づけ/保育士倫理綱領/保育者の資格
3	現代における保育者の社会的意義	養護と教育の一体/幼稚園の教育/異年齢保育
4	要領・指針にみる保育者の役割	こども理解と保育者の援助
5	子どもの権利を保障する保育者の役割	子どもの人権/不適切保育
6	子どもの主体的な遊びを支える保育者の役割	専門職として遊びをどのように支えるか/動画から考察する
7	保育者の職務内容①	保育所の一日の流れと保育士の仕事内容
8	保育者の職務内容②	保育の計画と実践/記録と省察/評価/ドキュメンテーション/写真で語る
9	家庭や地域と連携・協働する保育者	家庭との連携と子育て支援/ 連絡帳を考察する
10	多様な子どもの理解と関係機関との連携	多様なこどもを理解する/地域や専門機関・関係機関との連携・協働
11	保育者の連携と協働	同僚性/学び合い/チーム保育
12	保育者の専門的成長①	保育の専門性/研修の意義と重要性/園内研修
13	保育者の専門的成長②	保育の質向上とキャリア形成
14	現代の保育者に求められる資質や専門性	組織とリーダーシップ/対話/問いをもつ/省察的实践者
15	まとめ	振り返り / なりたい保育者像

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		保育者論		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	後期	2	講義
担当教員	長谷川 葵月			
実務経験	保育士・園長としての実務経験を有する。			

授業概要	
<p>子どもの育ちを支える保育者の役割や倫理について学ぶとともに、専門性について考察する。また、保育を営む者として、子どもとの関わりに加え、同僚性や保護者、地域との連携、協働の重要性についても考察する。ワークを通して自分の考えを言語化すると共に、他者と主体的に対話的な深い学びを実践することを目指す。</p>	
到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもを「人」として尊重する専門職としての保育者の在り方を理解する 保育者の役割、専門性について考察し、理解する 保育者の連携や協働を多角的に理解する 保育者の倫理や資質向上の重要性とキャリア形成について理解する なりたい保育者像をイメージし、言語化できるようにする 	
準備学習	
<ul style="list-style-type: none"> 授業内で扱う内容やキーワードとなる部分をまとめ、自分の考えを整理する。 保育者や子どもに関する社会動向やニュースに目を通し、自分の考えを持ち、言語化する。 	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	<p>『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』(チャイルド社) 『保育所保育指針解説』(フレーベル館) 『保育者論』(ミネルヴァ書房)</p>
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	保育とは、保育者とは「育ての心」 ころもちとは
2	保育者の制度的位置づけと倫理	保育、教育の基本に関わる法令、位置づけ/保育士倫理綱領/保育者の資格
3	現代における保育者の社会的意義	養護と教育の一体/幼稚園の教育/異年齢保育
4	要領・指針にみる保育者の役割	こども理解と保育者の援助
5	子どもの権利を保障する保育者の役割	子どもの人権/不適切保育
6	子どもの主体的な遊びを支える保育者の役割	専門職として遊びをどのように支えるか/動画から考察する
7	保育者の職務内容①	保育所の一日の流れと保育士の仕事内容
8	保育者の職務内容②	保育の計画と実践/記録と省察/評価/ドキュメンテーション/写真で語る
9	家庭や地域と連携・協働する保育者	家庭との連携と子育て支援/ 連絡帳を考察する
10	多様な子どもの理解と関係機関との連携	多様なこどもを理解する/地域や専門機関・関係機関との連携・協働
11	保育者の連携と協働	同僚性/学び合い/チーム保育
12	保育者の専門的成長①	保育の専門性/研修の意義と重要性/園内研修
13	保育者の専門的成長②	保育の質向上とキャリア形成
14	現代の保育者に求められる資質や専門性	組織とリーダーシップ/対話/問いをもつ/省察的实践者
15	まとめ	振り返り / なりたい保育者像

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもの発達と家庭支援			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	前期	2	講義
担当教員	米田 朝香			
実務経験	高等学校等において、スクールカウンセラーとしての実務経験を有する。			

授業概要
こどもの発達およびそれに応じた家庭支援に関する基本的な知識の修得と現場への応用を念頭に、講義形式を基盤にしつつ、最終的にはグループでのプレゼンテーションを実施する。家族についての理解を深めてもらうためにも詳しい解説を行う。リアクションペーパーの記入を通じて自分自身への気づきにもつながってもらいたい。
到達目標
①「こどもの発達と家庭支援」に関する理論や知識、考え方、および家族についての理解、知識を身につける。 ②知識を実際の現場にいかに応用できるかを学生自身が考えられる。 ③支援者としての自分自身の自己理解を深める。
準備学習
事前学習：次回の授業に関する資料等を事前に精読し、内容を把握しておくこと。 事後学習：授業の内容を振り返りまとめる。また、その回に学んだことと関係のある社会での出来事に関心を持つこと。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	授業の進め方と内容を解説、こどもの発達と家庭支援とは
2	家族について①	こどもの家庭支援の意義と役割
3	家族について②	家族とは何かを考える
4	家族について③	現代社会における家族の変化（機能や形態）
5	家族について④	現代社会における家族の変化（近代家族）
6	家族について⑤	家族をシステムとしてとらえる（家族療法）
7	家族について⑥	家族を取り巻く社会の変化
8	家庭支援について①	保育士に求められる基本的態度・調べ学習
9	家庭支援について②	保護者との信頼関係を築くかわり方・調べ学習
10	家庭支援について③	子ども家庭支援の内容と対象・調べ学習
11	家庭支援について④	保育所等と利用する子どもの家庭、地域の子育て家庭への支援・調べ学習 ※12回目の課題
12	家庭支援について⑤	要保護児童およびその家庭への支援・調べ学習
13	発表①	こどもの発達と家庭支援に関する発表①
14	発表②	こどもの発達と家庭支援に関する発表②
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもの発達と家庭支援			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	前期	2	講義
担当教員	米田 朝香			
実務経験	高等学校等において、スクールカウンセラーとしての実務経験を有する。			

授業概要
こどもの発達およびそれに応じた家庭支援に関する基本的な知識の修得と現場への応用を念頭に、講義形式を基盤にしつつ、最終的にはグループでのプレゼンテーションを実施する。家族についての理解を深めてもらうためにも詳しい解説を行う。リアクションペーパーの記入を通じて自分自身への気づきにもつながってもらいたい。
到達目標
①「こどもの発達と家庭支援」に関する理論や知識、考え方、および家族についての理解、知識を身につける。 ②知識を実際の現場にいかに応用できるかを学生自身が考えられる。 ③支援者としての自分自身の自己理解を深める。
準備学習
事前学習： 次回の授業に関する資料等を事前に精読し、内容を把握しておくこと。 事後学習： 授業の内容を振り返りまとめる。また、その回に学んだことと関係のある社会での出来事に関心を持つこと。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	授業の進め方と内容を解説、こどもの発達と家庭支援とは
2	家族について①	こどもの家庭支援の意義と役割
3	家族について②	家族とは何かを考える
4	家族について③	現代社会における家族の変化（機能や形態）
5	家族について④	現代社会における家族の変化（近代家族）
6	家族について⑤	家族をシステムとしてとらえる（家族療法）
7	家族について⑥	家族を取り巻く社会の変化
8	家庭支援について①	保育士に求められる基本的態度・調べ学習
9	家庭支援について②	保護者との信頼関係を築くかわり方・調べ学習
10	家庭支援について③	子ども家庭支援の内容と対象・調べ学習
11	家庭支援について④	保育所等と利用する子どもの家庭、地域の子育て家庭への支援・調べ学習 ※12回目の課題
12	家庭支援について⑤	要保護児童およびその家庭への支援・調べ学習
13	発表①	こどもの発達と家庭支援に関する発表①
14	発表②	こどもの発達と家庭支援に関する発表②
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		保育内容総論		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	後期	1	演習
担当教員	石原 成			
実務経験	幼稚園教諭・園長としての実務経験を有する。			

授業概要	
<p>「保育とは」「保育内容とは」、また、保育現場で必要とされる基礎的知識を学ぶ。 グループワーク話し合い、発表などを通して保育に必要とされる本質を主体的に、実践的に学ぶ</p>	
到達目標	
<p>保育内容について基礎的知識や実践内容を理解し、説明することができる。 保育の実践の場で活かせる理論・実践の基礎を身につけることができる。</p>	
準備学習	
<p>事前学習・章ごとの教科書の内容を熟読する 事後学習・講義内容を復習する。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	渡邊 英則 編著 大豆生田 啓友 編著 「保育内容総論」 ミネルヴァ書房
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	授業ガイダンス・	授業のルール・評価・「保育」の基本を学ぶ (第1章)
2	保育内容	「保育内容」を5領域や養護のねらいから違いを比較していく (第2章) □
3	保育における子ども理解と評価	保育においての子どもをどのような視点から理解するのか、どのように評価するの
4	保育における計画と記録	保育のカリキュラムマネジメントの面から計画と記録の必要性を学ぶ (第4章)
5	遊びを通しての学び	3歳未満児の保育内容と手作り教材 (第5章) □
6	遊びを通しての学び	3歳以上児の保育内容と手作り教材 (第5章)
7	養護と教育の一体的な展開	子どものエピソードや写真から養護と教育の両面から考察する (第6章)
8	環境を通して行う保育	環境を通して行う保育の意味を知り物的・自然環境を学ぶ (第8章)
9	環境を通して行う保育	環境を通して行う保育の意味を知り人的環境を学ぶ (第8章)
10	個と集団の育ちを支える保育	保育における「個」と「集団」の関係と保育者に求められる視点を学ぶ (第9章)
11	家庭や地域との連携	家庭や地域、小学校などの連携の中身を知りドキュメンテーションを作成する (第10～11章)
12	多様性への対応	保育における多様性を学び、支援策を考察する (第12章)
13	保育内容の歴史的変遷	保育所の環境や歴史について実際の写真から学ぶ。(第13章)
14	子どもの権利について	保育における現代的な課題を理解する (第7章)
15	まとめ	これまでの学びの確認

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		保育内容総論		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	後期	1	演習
担当教員	石原 成			
実務経験	幼稚園教諭・園長としての実務経験を有する。			

授業概要
「保育とは」「保育内容とは」、また、保育現場で必要とされる基礎的知識を学ぶ。 グループワーク話し合い、発表などを通して保育に必要とされる本質を主体的に、実践的に学ぶ
到達目標
保育内容について基礎的知識や実践内容を理解し、説明することができる。 保育の実践の場で活かせる理論・実践の基礎を身につけることができる。
準備学習
事前学習・章ごとの教科書の内容を熟読する 事後学習・講義内容を復習する。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	渡邊 英則 編著 大豆生田 啓友 編著 「保育内容総論」 ミネルヴァ書房
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	授業ガイダンス・	授業のルール・評価・「保育」の基本を学ぶ (第1章)
2	保育内容	「保育内容」を5領域や養護のねらいから違いを比較していく (第2章) □
3	保育における子ども理解と評価	保育においての子どもをどのような視点から理解するのか、どのように評価するの
4	保育における計画と記録	保育のカリキュラムマネジメントの面から計画と記録の必要性を学ぶ (第4章)
5	遊びを通しての学び	3歳未満児の保育内容と手作り教材 (第5章) □
6	遊びを通しての学び	3歳以上児の保育内容と手作り教材 (第5章)
7	養護と教育の一体的な展開	子どものエピソードや写真から養護と教育の両面から考察する (第6章)
8	環境を通して行う保育	環境を通して行う保育の意味を知り物的・自然環境を学ぶ (第8章)
9	環境を通して行う保育	環境を通して行う保育の意味を知り人的環境を学ぶ (第8章)
10	個と集団の育ちを支える保育	保育における「個」と「集団」の関係と保育者に求められる視点を学ぶ (第9章)
11	家庭や地域との連携	家庭や地域、小学校などの連携の中身を知りドキュメンテーションを作成する (第10～11章)
12	多様性への対応	保育における多様性を学び、支援策を考察する (第12章)
13	保育内容の歴史の変遷	保育所の環境や歴史について実際の写真から学ぶ。(第13章)
14	子どもの権利について	保育における現代的な課題を理解する (第7章)
15	まとめ	これまでの学びの確認

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育学科>

科目名	保育内容（健康）			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育学科	1年Aコース	前期	1	講義
担当教員	門倉洋輔			
実務経験	学童保育指導員（6年）			

授業概要
子どもの健康を支援する保育者に必要な理論について、「保育所保育指針」の「健康領域」に関するねらいや内容の解説から学び、子どもの健康を意識した指導技術を習得する。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・保育における健康のねらい及び内容を理解する。 ・幼児期の心身の発達の理解、子どもを取り巻く環境の理解を深める。 ・子どもの健康に関する知識、指導技術を獲得し、保育の場で応用することができる。
準備学習
学習内容を復習し、自分の考えをまとめる。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）

使用テキスト	実践例から学びを深める（保育内容・領域）「健康指導法」：わかば社
--------	----------------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	イントロダクション	子どもの生命を預かるということ
2	生活リズム	子どもの生活リズムの概要
3	栄養①	子どもの食について
4	栄養②	子どもの食に関する諸問題
5	栄養③	食育
6	栄養④	アレルギー緊急時対応
7	演習	子どもの健康に関わる保育実践
8	休養①	子ども睡眠について
9	休養②	子どもの睡眠に関する諸問題
10	運動①	子どもの運動について
11	運動②	幼児期の運動に関する指導法
12	運動③	子どもの運動に関する諸問題
13	発育・発達	子どもの発育・発達の概要
14	振り返り	振り返り・まとめ
15	まとめ	総括・科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	保育内容（健康）			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	前期	1	講義
担当教員	門倉洋輔			
実務経験	学童保育指導員（6年）			

授業概要
子どもの健康を支援する保育者に必要な理論について、「保育所保育指針」の「健康領域」に関するねらいや内容の解説から学び、子どもの健康を意識した指導技術を習得する。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・保育における健康のねらい及び内容を理解する。 ・幼児期の心身の発達の理解、子どもを取り巻く環境の理解を深める。 ・子どもの健康に関する知識、指導技術を獲得し、保育の場で応用することができる。
準備学習
学習内容を復習し、自分の考えをまとめる。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）

使用テキスト	実践例から学びを深める（保育内容・領域）「健康指導法」：わかば社
--------	----------------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	イントロダクション	子どもの生命を預かるということ
2	生活リズム	子どもの生活リズムの概要
3	栄養①	子どもの食について
4	栄養②	子どもの食に関する諸問題
5	栄養③	食育
6	栄養④	アレルギー緊急時対応
7	演習	子どもの健康に関わる保育実践
8	休養①	子ども睡眠について
9	休養②	子どもの睡眠に関する諸問題
10	運動①	子どもの運動について
11	運動②	幼児期の運動に関する指導法
12	運動③	子どもの運動に関する諸問題
13	発育・発達	子どもの発育・発達の概要
14	振り返り	振り返り・まとめ
15	まとめ	総括・科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	保育内容（人間関係）			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	前期	1	講義
担当教員	米田 朝香			
実務経験				

授業概要
<p>領域「人間関係」を理解するための知識を身につけることを重視し、社会学、発達心理学などの理論をベースに授業を展開するとともに、実際の保育者のエピソードや連絡ノート、レクリエーション等を用いて考察を行う。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」の意義、ねらい、内容を理解する。 ・保育者の援助について理解する。 ・子どもの人間関係に関する知識、指導技術を獲得し、保育の場で応用することができる。
準備学習
<p>学習内容を復習し、自分の考えをまとめる。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含まない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	なし
--------	----

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション：人間関係の基本概念	授業の概要説明と、人間関係が乳幼児期に果たす役割の基礎を学ぶ。
2	自己理解とアイデンティティの形成	自己概念の発達プロセスと、アイデンティティの確立について考える。
3	子どもを取り巻く環境： 社会・文化の影響	家庭・地域・文化が子どもの人間関係の形成に与える影響を探る。
4	領域「人間関係」の目指すもの	幼児教育における「人間関係」の意義と目標を深く理解する。
5	発達心理学に基づく人間関係の基礎	発達心理学を通して、幼児期の対人関係の発達段階を学ぶ。
6	0～2歳児の対人関係：愛着と安心感	保育の現場における乳児期の人との関わりの重要性を理解する。
7	3歳児の社会的適応： 安心できる居場所づくり	3歳児が安心して関わる環境作りと、保育者の役割を考察する。
8	4歳児の対人関係： 自己主張と共感のバランス	4歳児の発達特性をもとに、自己表現と協調性の育成方法を学ぶ。
9	5歳児の人間関係： 協働と社会性の発展	5歳児の社会的スキルの向上と、充実した園生活を支える要素を考える。
10	一人ひとりの個性を尊重する関わり方	多様な子どもの特性を理解し、それぞれの存在を尊重する方法を学ぶ。
11	保護者との信頼関係を築く コミュニケーション	保護者との円滑な関係構築のためのポイントを探る。
12	保育者同士の連携と チームワークの重要性	保育者間の協力関係が子どもに与える影響と、効果的な連携を学ぶ。
13	人間関係の育ちを観察し、記録する方法	ソシオグラムや保育記録を活用した関係性の評価方法を実践的に学ぶ。
14	振り返り	振り返り・試験対策
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	保育内容（人間関係）			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	前期	1	講義
担当教員	米田 朝香			
実務経験				

授業概要
<p>領域「人間関係」を理解するための知識を身につけることを重視し、社会学、発達心理学などの理論をベースに授業を展開するとともに、実際の保育者のエピソードや連絡ノート、レクリエーション等を用いて考察を行う。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」の意義、ねらい、内容を理解する。 ・保育者の援助について理解する。 ・子どもの人間関係に関する知識、指導技術を獲得し、保育の場で応用することができる。
準備学習
<p>学習内容を復習し、自分の考えをまとめる。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	なし
--------	----

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション：人間関係の基本概念	授業の概要説明と、人間関係が乳幼児期に果たす役割の基礎を学ぶ。
2	自己理解とアイデンティティの形成	自己概念の発達プロセスと、アイデンティティの確立について考える。
3	子どもを取り巻く環境： 社会・文化の影響	家庭・地域・文化が子どもの人間関係の形成に与える影響を探る。
4	領域「人間関係」の目指すもの	幼児教育における「人間関係」の意義と目標を深く理解する。
5	発達心理学に基づく人間関係の基礎	発達心理学を通して、幼児期の対人関係の発達段階を学ぶ。
6	0～2歳児の対人関係：愛着と安心感	保育の現場における乳児期の人との関わりの重要性を理解する。
7	3歳児の社会的適応： 安心できる居場所づくり	3歳児が安心して関わる環境作りと、保育者の役割を考察する。
8	4歳児の対人関係： 自己主張と共感のバランス	4歳児の発達特性をもとに、自己表現と協調性の育成方法を学ぶ。
9	5歳児の人間関係： 協働と社会性の発展	5歳児の社会的スキルの向上と、充実した園生活を支える要素を考える。
10	一人ひとりの個性を尊重する関わり方	多様な子どもの特性を理解し、それぞれの存在を尊重する方法を学ぶ。
11	保護者との信頼関係を築く コミュニケーション	保護者との円滑な関係構築のためのポイントを探る。
12	保育者同士の連携と チームワークの重要性	保育者間の協力関係が子どもに与える影響と、効果的な連携を学ぶ。
13	人間関係の育ちを観察し、記録する方法	ソシオグラムや保育記録を活用した関係性の評価方法を実践的に学ぶ。
14	振り返り	振り返り・試験対策
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	保育内容（言葉）			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	前期	1	演習
担当教員	中村 リヨ			
実務経験	幼稚園教諭・園長としての実務経験を有する。			

授業概要
<p>・「ことば」の発達における集団生活の意義や保育者の役割について、領域「言葉」のねらい及び内容をもとに、幼児の言葉の特徴や発達について理解を深める。</p> <p>・言葉の習得と児童文化財（言語教材としての）との関わりを理解するとともに演習を通して実践的な指導力を身につけていく。</p>
到達目標
<p>・言葉が育つ過程について学ぶ</p> <p>・「子どもの言葉をより豊かにするための具体的な活動」に必要な教材や指導技術を理解する。</p> <p>・指導法について演習し、実践的な指導力を身につける。</p>
準備学習
<p>講義内容をふまえて、演習に向けての準備をする。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。</p> <p>定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	<p>資料は授業時に配付</p> <p>「幼稚園教育要領解説」</p> <p>「保育所保育指針解説」</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」</p> <p>実践例から学びを深める（保育内容・領域）「言葉指導法」：わかば社</p>
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	科目概要の説明
2	言葉とは何か	言葉が果たす役割
3	子どもの発達と言葉の発達	誕生から6歳迄の発達
4	言葉の発達と環境	かかわり・生活・遊び
5	領域「言葉」のねらいと内容	幼稚園教育要領（保育指針等）の理解
6	領域「言葉」の具体的な内容	聞く力を育てる。言葉による表現を豊かにする
7	児童文化財とは①	文化財の内容について理解と演習準備
8	児童文化財とは②	演習（製作）
9	演習準備	絵本とは・紙芝居とは・発達、特徴、留意点
10	実践演習①	演習（絵本読み聞かせ）
11	実践演習②	演習（絵本読み聞かせ）
12	演習の振り返り	演習の成果と反省
13	言語発達をとらえる視点	自己表現としての言葉の育ち
14	集団生活の中での言語活動	保育者の援助と役割
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	保育内容（言葉）			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	前期	1	演習
担当教員	中村 リヨ			
実務経験	幼稚園教諭・園長としての実務経験を有する。			

授業概要
<p>・「ことば」の発達における集団生活の意義や保育者の役割について、領域「言葉」のねらい及び内容をもとに、幼児の言葉の特徴や発達について理解を深める。</p> <p>・言葉の習得と児童文化財（言語教材としての）との関わりを理解するとともに演習を通して実践的な指導力を身につけていく。</p>
到達目標
<p>・言葉が育つ過程について学ぶ</p> <p>・「子どもの言葉をより豊かにするための具体的な活動」に必要な教材や指導技術を理解する。</p> <p>・指導法について演習し、実践的な指導力を身につける。</p>
準備学習
<p>講義内容をふまえて、演習に向けての準備をする。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。</p> <p>定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	<p>資料は授業時に配付</p> <p>「幼稚園教育要領解説」</p> <p>「保育所保育指針解説」</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」</p> <p>実践例から学びを深める（保育内容・領域）「言葉指導法」：わかば社</p>
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	科目概要の説明
2	言葉とは何か	言葉が果たす役割
3	子どもの発達と言葉の発達	誕生から6歳迄の発達
4	言葉の発達と環境	かかわり・生活・遊び
5	領域「言葉」のねらいと内容	幼稚園教育要領（保育指針等）の理解
6	領域「言葉」の具体的な内容	聞く力を育てる。言葉による表現を豊かにする
7	児童文化財とは①	文化財の内容について理解と演習準備
8	児童文化財とは②	演習（製作）
9	演習準備	絵本とは・紙芝居とは・発達、特徴、留意点
10	実践演習①	演習（絵本読み聞かせ）
11	実践演習②	演習（絵本読み聞かせ）
12	演習の振り返り	演習の成果と反省
13	言語発達をとらえる視点	自己表現としての言葉の育ち
14	集団生活の中での言語活動	保育者の援助と役割
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもの造形 I			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	前期	1	演習
担当教員	瀧 将仁			
実務経験	-			

授業概要
<p>保育者に必要な造形の基礎知識・技術を学びます。平面造形の原理や材料、表現手法を習得し、感性や創造性、手指の巧緻性を育てます。上手さではなく、感じたことを表現することが重要です。家庭で実践し、親子で制作を楽しむことも良い経験になります。苦手意識を持たず、楽しみながら取り組みましょう。</p>
到達目標
<p>保育者に必要な基礎的な造形知識・技術を習得する。平面造形の原理（形態・色彩・テクスチャー・構成の原理・配色と調和）、平面造形の材料と用具（描画材料）、表現手法（各種の表現手法について）について学習し、保育現場で実践・応用できる力を身に付ける。</p>
準備学習
<p>多様なメディアを通じて良質なビジュアル表現に触れ、幼児教育との関わりや課題を考えてみましょう。世の中には優れた表現もそうでないものもあります。保育者として情報を選別し、子どもたちに良質な表現を伝えられる力を養うことが大切です。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験の点数を評点とし、評価とする。</p>

使用テキスト	<p>配布プリント、造形に必要な用具類 ※保育者に必要な最低限の用具を用意してもらいます。生涯にわたり必要な要な用具となりますので、手元に無いものは購入して頂く場合がありますのでご了承ください。</p>
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	造形の基礎知識①	保育者に必要な道具の説明
2	造形の基礎知識②	造形体験を振り返ってみよう
3	造形の基礎知識③	幼児向けの折り紙を作ろう
4	造形の基礎知識④	室内装飾を作ってみよう
5	造形の基礎知識⑤	色彩理論（色の三原色、色の三属性）
6	造形の基礎知識⑥	水彩の技法（ドリップング、吹き流し）
7	造形の基礎知識⑦	水彩の技法（デカルコマニー）
8	造形の基礎知識⑧	水彩で抽象画を描こう（テーマ：春夏秋冬）
9	造形の基礎知識⑨	作品講評 作品の見方、ほめるポイント
10	造形の基礎知識⑩	色彩構成（折り紙を使った色彩構成）
11	造形の基礎知識⑪	素材研究① フェルトペンで描こう
12	造形の基礎知識⑫	素材研究② クレヨンで描こう
13	造形の基礎知識⑬	素材研究③ 鉛筆で描こう
14	造形の基礎知識⑭	素材研究④ 色鉛筆で描こう
15	造形の基礎知識⑮	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもの身体表現 I			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	後期	1	演習
担当教員	水原 佐和子			
実務経験	-			

授業概要
<p>保育における運動実技の基礎を行う。運動遊びに親しみを持つことができるよう、実技を通して集団での様々な運動遊びを経験する。</p> <p>※授業計画については必要に応じ適宜変更を加えます</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・科目に必要な基礎力を身につける ・様々な運動遊びの実技を経験する ・集団で運動遊びを行うことの楽しみを味わい、皆で協力し、活動を行う
準備学習
<p>適度な運動習慣を持つこと 実技見学时は要レポート提出</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	適宜配布
--------	------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	授業概要の伝達
2	運動実技①	様々なストレッチ
3	運動実技②	操作性遊具を使った遊び
4	運動実技③	基礎的な移動運動
5	運動実技④	集団で行う運動遊び① (操作性遊具/ボール)
6	運動実技⑤	集団で行う運動遊び② (操作性遊具/なわとび)
7	運動実技⑥	集団で行う運動遊び③ (ルールのある遊び①)
8	運動実技⑦	集団で行う運動遊び④ (ルールのある遊び②)
9	運動実技⑧	幼児と行う体操のレパートリー①
10	運動実技⑨	幼児と行う体操のレパートリー②
11	運動実技⑩	幼児と行う体操のレパートリー③
12	運動実技⑪	幼児と行う体操のレパートリー④
13	運動実技⑫	幼児と行う体操のレパートリー⑤
14	運動実技⑬	総括
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもの身体表現 I			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	後期	1	演習
担当教員	水原 佐和子			
実務経験	-			

授業概要
<p>保育における運動実技の基礎を行う。運動遊びに親しみを持つことができるよう、実技を通して集団での様々な運動遊びを経験する。</p> <p>※授業計画については必要に応じ適宜変更を加えます</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・科目に必要な基礎力を身につける ・様々な運動遊びの実技を経験する ・集団で運動遊びを行うことの楽しみを味わい、皆で協力し、活動を行う
準備学習
<p>適度な運動習慣を持つこと 実技見学时は要レポート提出</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	適宜配布
--------	------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	授業概要の伝達
2	運動実技①	様々なストレッチ
3	運動実技②	操作性遊具を使った遊び
4	運動実技③	基礎的な移動運動
5	運動実技④	集団で行う運動遊び① (操作性遊具/ボール)
6	運動実技⑤	集団で行う運動遊び② (操作性遊具/なわとび)
7	運動実技⑥	集団で行う運動遊び③ (ルールのある遊び①)
8	運動実技⑦	集団で行う運動遊び④ (ルールのある遊び②)
9	運動実技⑧	幼児と行う体操のレパートリー①
10	運動実技⑨	幼児と行う体操のレパートリー②
11	運動実技⑩	幼児と行う体操のレパートリー③
12	運動実技⑪	幼児と行う体操のレパートリー④
13	運動実技⑫	幼児と行う体操のレパートリー⑤
14	運動実技⑬	総括
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		障害児保育		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Aコース	後期	2	演習
担当教員	大部さつき			
実務経験	保育士・園長としての実務経験を有する。			

授業概要	
<p>保育および教育現場では個別的なニーズを有する幼児への適切な支援や配慮が欠かせない。障害についての基本的な考え方を理解する。</p>	
到達目標	
<p>①特別な支援を必要とする幼児の障害の特性および心身の発達について理解する。 ②特別な支援を必要とする幼児に対する支援や、関係機関との連携について理解する。 ③障害児その他の特別な配慮を要する子どもの現状と課題について理解する。</p>	
準備学習	
<p>日々の生活の中で、人の暮らしやすさを考えておく</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	配布された資料他
--------	----------

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の内容を把握し「障害」について考える
2	障害児保育の歴史	これまでの障害児保育・教育
3	障害受容と心の支援	保護者とのかかわりを考える
4	障害の理解と支援①	知的障害
5	障害の理解と支援②	発達障害
6	障害の理解と支援③	肢体不自由
7	障害の取組	障害者週間・人権週間について考える
8	自閉症について	自閉症の人が見ている世界～大人～
9	自閉症について	自閉症の人が見ている世界～子ども～
10	教育現場	特別支援学校～学校～
11	教育現場	特別支援学校～学校～
12	思春期・青年期	中学校・高等学校における障害のある子どもの生活
13	障害児保育と教育	インクルージョンと合理的配慮
14	まとめ	
15	課題試験	

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	障害児保育			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	後期	2	演習
担当教員	大部さつき			
実務経験	保育士・園長としての実務経験を有する。			

授業概要
<p>保育及び教育現場では個別的なニーズを有する幼児への適切な支援や配慮が欠かせない。障害についての基本的な考え方について理解する。</p>
到達目標
<p>①特別な支援を必要とする幼児の障害の特性および心身の発達について理解する。 ②特別な支援を必要とする幼児に対する支援や 関係機関との連携について理解する。 ③障害児その他の特別な配慮を要する子どもの現状と課題について理解する。</p>
準備学習
<p>日々の生活の中で、人の暮らしやすさを考えておく</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	配布された資料他
--------	----------

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の内容を把握し「障害」について考える
2	障害児保育の歴史	これまでの障害児保育・教育
3	障害受容と心の支援	保護者とのかかわりを考える
4	障害の理解と支援①	知的障害
5	障害の理解と支援②	発達障害
6	障害の理解と支援③	肢体不自由
7	自閉症について	自閉症の人が見ている世界～子ども～
8	自閉症について	自閉症の人が見ている世界～大人～
9	教育現場	特別支援学校～学校～
10	教育現場	特別支援学校～学校～
11	思春期・青年期	中学校・高等学校における障害のある子どもの生活
12	障害の取組	障害者週間・人権週間について考える
13	障害児保育と教育	インクルージョンと合理的配慮
14	まとめ	
15	課題試験	

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名 保育実習指導（保育所・施設）				
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	1年Bコース	後期	2	演習
担当教員	倉島 多摩代			
実務経験	幼稚園および保育園において実務経験を有する。			

授業概要
<p>本授業では、保育実習Ⅰに向けて記録を取ることを通して、的確に状況を捉え分析する力を養います。また、様々な福祉施設の実際を知り知識を得るだけでなく、保育者として自分がどのように関わることができるのかということを考えます。</p>
到達目標
<p>①保育実習Ⅰの意義・目的を再確認し学びを深める。 ②子どもや利用者の姿を観察・記録し分析することができる。</p>
準備学習
<p>福祉に関する多様な文献およびニュースに触れ、自分なりの考えをもつ。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	<p>『新しい保育講座 保育・教育実習』 ミネルヴァ書房 『学びつづける保育者をめざす実習の本 保育所・施設・幼稚園』 萌文書林 『保育所保育指針解説』 フレーベル館</p>
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明/保育実習Ⅰの意義と目的を確認する
2	保育を記録する①	子どもの生活全体を捉え記録する
3	保育を記録する②	子どもの生活全体を捉え記録する
4	保育を記録する③	子どもの生活の一場面を詳しく捉え記録する
5	保育を記録する④	子どもの生活の一場面を詳しく捉え記録する
6	保育を組み立てる	子どもの世界に没入し、実態からあそびを創る
7	施設実習を考える	グループワーク 自分の配属先施設への理解を深め、学びの視点をもつ/施設の生活を記録する
8	社会的養護の視点から考える①	ゲストスピーカー 施設実習の意義と目的を考える
9	社会的養護の視点から考える②	ゲストスピーカー 児童発達支援職員
10	社会的養護の視点から考える③	ゲストスピーカー 重症心身障害児施設職員
11	社会的養護の視点から考える④	ゲストスピーカー 児童養護施設職員
12	社会的養護の視点から考える⑤	ゲストスピーカー 知的障害者施設職員
13	鑑賞	福祉をテーマにした映画を鑑賞し、グループワークを行う
14	振り返り	授業内容の振り返り
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		こどもの理解と援助		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	前期	1	演習
担当教員	守家成華			
実務経験	児童養護施設において、児童指導員としての実務経験を有する。			

授業概要
本講義では、子どもの発達理解を基盤に、行動や心理の背景を多面的に捉える力を養う。さらに、発達段階や個性に応じた援助方法を、事例を通して実践的に学び、現場で活用できる支援力の習得を目指す。
到達目標
1. 子どもの発達（運動・認知・社会性・言語・身辺自立）を総合的に理解できる 2. 発達段階や個性に応じた援助の考え方を説明できる 3. 子どもの「困りごと」の背景を多面的に捉えられる 4. 保育・福祉現場で活用できる具体的な関わり方を身につける 5. 保護者支援・チーム支援の基本的視点を理解する
準備学習
事前学習：次回授業で扱う範囲について教科書をあらかじめ読み、必要に応じて関連事項について調べておく。 事後学習：授業内容を振り返り、ノートにまとめる。レポート課題を課す場合はレポートを作成する。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）

使用テキスト	『どの子にもあ～楽しかった！の毎日』赤木和重、岡村由紀子ほか ひとなる書房
--------	---------------------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション・子ども理解とは	授業の目的・評価方法／「理解する」とは何か／保育・福祉における視点
2	発達の基礎①（運動発達・身辺自立）	発達の原則／年齢ごとの特徴
3	発達の基礎②（認知・言語）	ことばの発達・遊びとの関係
4	発達の基礎③（社会性・情緒）	愛着形成・自己肯定感の育ち
5	子どもの行動の意味を考える	「困った行動」はなぜ起きるか、行動の背景
6	観察と記録の基本	観察のポイント・主観と客観の違い・記録の書き方
7	援助の基本①（関わり方）	受容・共感・言葉かけ・信頼関係の築き方
8	援助の基本②（環境構成）	環境による支援・視覚支援・構造化
9	発達が気になる子どもの理解①	自閉スペクトラム症の特徴と関わり／感覚特性
10	発達が気になる子ども理解②	注意欠如・多動症／学習障害／支援の工夫
11	困りごと別支援①	落ち着きがない／集団参加が難しい
12	困りごと別支援②	かんしゃく・こだわり／コミュニケーション困難
13	保護者支援	保護者との関係づくり／相談対応の基本
14	チーム支援・多職種連携	保育士・療育医療の連携／情報共有のポイント
15	総まとめ・ケーススタディ	事例検討（グループワーク）／支援計画を考える
		※授業の進行や社会情勢によっては、授業内容と計画を変更する場合があります。

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		こどもの理解と援助		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	前期	1	演習
担当教員	守家成華			
実務経験	児童養護施設において、児童指導員としての実務経験を有する。			

授業概要
本講義では、子どもの発達理解を基盤に、行動や心理の背景を多面的に捉える力を養う。さらに、発達段階や個性に応じた援助方法を、事例を通して実践的に学び、現場で活用できる支援力の習得を目指す。
到達目標
1. 子どもの発達（運動・認知・社会性・言語・身辺自立）を総合的に理解できる 2. 発達段階や個性に応じた援助の考え方を説明できる 3. 子どもの「困りごと」の背景を多面的に捉えられる 4. 保育・福祉現場で活用できる具体的な関わり方を身につける 5. 保護者支援・チーム支援の基本的視点を理解する
準備学習
事前学習：次回授業で扱う範囲について教科書をあらかじめ読み、必要に応じて関連事項について調べておく。 事後学習：授業内容を振り返り、ノートにまとめる。レポート課題を課す場合はレポートを作成する。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）

使用テキスト	『どの子にもあ～楽しかった！の毎日』赤木和重、岡村由紀子ほか ひとなる書房
--------	---------------------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション・子ども理解とは	授業の目的・評価方法／「理解する」とは何か／保育・福祉における視点
2	発達の基礎①（運動発達・身辺自立）	発達の原則／年齢ごとの特徴
3	発達の基礎②（認知・言語）	ことばの発達・遊びとの関係
4	発達の基礎③（社会性・情緒）	愛着形成・自己肯定感の育ち
5	子どもの行動の意味を考える	「困った行動」はなぜ起きるか、行動の背景
6	観察と記録の基本	観察のポイント・主観と客観の違い・記録の書き方
7	援助の基本①（関わり方）	受容・共感・言葉かけ・信頼関係の築き方
8	援助の基本②（環境構成）	環境による支援・視覚支援・構造化
9	発達が気になる子どもの理解①	自閉スペクトラム症の特徴と関わり／感覚特性
10	発達が気になる子ども理解②	注意欠如・多動症／学習障害／支援の工夫
11	困りごと別支援①	落ち着きがない／集団参加が難しい
12	困りごと別支援②	かんしゃく・こだわり／コミュニケーション困難
13	保護者支援	保護者との関係づくり／相談対応の基本
14	チーム支援・多職種連携	保育士・療育医療の連携／情報共有のポイント
15	総まとめ・ケーススタディ	事例検討（グループワーク）／支援計画を考える
		※授業の進行や社会情勢によっては、授業内容と計画を変更する場合があります。

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもの保健			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	前期	2	講義
担当教員	三浦由美			
実務経験	-			

授業概要
①小児保健の意義を理解し、それぞれの発達段階における生理機能について学ぶ ②発達段階における子どもの病気の特徴や予防について学び、健康状態の把握方法、他の関係機関との連携の在り方を学び適切な対応を理解する
到達目標
①子どもの身体的発育・発達段階を理解し、保育実践に活かすことができる ②子どもを取り巻く多様な環境を理解し、他者との連携を取りながら保育を行うことができる
準備学習
事前学習：教科書などにより講義内容を把握に努める 事後学習：各自振り返りに努める
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	こどもの保健 豊岡短期大学
--------	---------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	健康の概念	子どもの健康の概念を理解する
2	健康指標とその評価	子どもの健康指標および現代の子どもの健康に関する現状と課題について理解する
3	子どもの発達（生理機能）	子どもの身体的発育・発達と保健について学ぶ
4	子どもの発達（支援）	生活習慣病胎児発症説について学ぶ
5	子どもの心身の健康状態①	子どもの心身の健康状態：心身の不調などの早期発見について学ぶ
6	子どもの心身の健康状態②	子どもの心身の健康状態：発育・発達把握について学ぶ
7	子どもの虐待・障害	虐待・障害がある子どもへの対応について学ぶ
8	子どもの病気①	子どもの病気予防および適切な対応①子どもによくかかる疾病の特徴について学ぶ
9	子どもの病気②	子どもの病気予防および適切な対応②その他の疾病の特徴について学ぶ
10	子どもの病気③	子どもの病気予防および適切な対応③疾病の予防と適切な対応について学ぶ
11	子どもの病気④	子どもの病気予防および適切な対応④感染症総論
12	子どもの病気⑤	子どもの病気予防および適切な対応⑤感染症各論
13	災害総論	災害対策について学ぶ
14	安全対策・教育	事故防止・安全対策について学ぶ
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもの保健			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	前期	2	講義
担当教員	三浦由美			
実務経験	-			

授業概要
①小児保健の意義を理解し、それぞれの発達段階における生理機能について学ぶ ②発達段階における子どもの病気の特徴や予防について学び、健康状態の把握方法、他の関係機関との連携の在り方を学び適切な対応を理解する
到達目標
①子どもの身体的発育・発達段階を理解し、保育実践に活かすことができる ②子どもを取り巻く多様な環境を理解し、他者との連携を取りながら保育を行うことができる
準備学習
事前学習：教科書などにより講義内容を把握に努める 事後学習：各自振り返りに努める
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	子どもの保健 豊岡短期大学
--------	---------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	健康の概念	子どもの健康の概念を理解する
2	健康指標とその評価	子どもの健康指標および現代の子どもの健康に関する現状と課題について理解する
3	子どもの発達（生理機能）	子どもの身体的発育・発達と保健について学ぶ
4	子どもの発達（支援）	生活習慣病胎児発症説について学ぶ
5	子どもの心身の健康状態①	子どもの心身の健康状態：心身の不調などの早期発見について学ぶ
6	子どもの心身の健康状態②	子どもの心身の健康状態：発育・発達把握について学ぶ
7	子どもの虐待・障害	虐待・障害がある子どもへの対応について学ぶ
8	子どもの病気①	子どもの病気予防および適切な対応①子どもによくかかる疾病の特徴について学ぶ
9	子どもの病気②	子どもの病気予防および適切な対応②その他の疾病の特徴について学ぶ
10	子どもの病気③	子どもの病気予防および適切な対応③疾病の予防と適切な対応について学ぶ
11	子どもの病気④	子どもの病気予防および適切な対応④感染症総論
12	子どもの病気⑤	子どもの病気予防および適切な対応⑤感染症各論
13	災害総論	災害対策について学ぶ
14	安全対策・教育	事故防止・安全対策について学ぶ
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもの食と栄養			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	前期	2	演習
担当教員	山口恭子			
実務経験	-			

授業概要
食・栄養の基本、ライフステージごとの食のあり方を学び、人間が心身ともに健康的な生活を送るためには何をどのように食べたらよいかを理解する。講義、小テスト、定期試験を通して知識の確実な習得を図るとともに、実習・演習の主体的な学びを通して、こどもや保護者へ知識を伝えるための実践力を身につける。
到達目標
①健康的な生活の基本である食の意義や栄養の知識を学び、食生活で実践する力を身につける。 ②こどもの発育・発達に合わせた食生活の意義と基本的知識を理解する。 ③食育の意義を理解し、実践方法を具体的に考えることができる。 ④特別な配慮を要するこどもの食と栄養について理解し、適切に対応できる。
準備学習
事前学習：テキストを読み、講義内容を把握しておく。 事後学習：ノートで講義内容を復習するとともに、次回の小テストに備える。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	『イラスト子どもの食と栄養』 森脇千夏ら著、東京教学社、ISBN：978-4-8082-6060-6
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	子どもの発育・発達と食生活	子どもの発育・発達の基本的知識、食べる機能の発達、栄養状態の評価
2	乳児期の栄養と食生活①	乳児期の身体的・生理的特徴
3	乳児期の栄養と食生活②	離乳期の栄養
4	実習・演習①	調乳・離乳食実習（前半班）／食育課題演習（後半班）
5	実習・演習②	調乳・離乳食実習（後半班）／食育課題演習（前半班）
6	子どもの心身の健康と食生活	子どもの心身の健康と食生活の意義、現状と課題
7	栄養に関する基本的知識①	エネルギー、栄養素、代謝に関する基本的知識
8	栄養に関する基本的知識②	日本人の食事摂取基準、食事構成
9	幼児期の栄養と食生活①	食機能の発達と成長、食事・間食の意義とその実践
10	幼児期の栄養と食生活②	幼児期の食行動の問題と対応
11	妊娠期、学童・思春期、成人期、高齢期の栄養と食生活	各ライフステージの身体的・生理的特徴と食生活
12	食育の基本と内容	食育基本法、食育の必要性と食育の実際 家庭や児童福祉施設における食事と栄養、食育
13	特別な配慮を要する子どもの食と栄養①	こどもの疾病、体調不良の基本的知識と食対応
14	特別な配慮を要する子どもの食と栄養②	食物アレルギーの基本的知識と食対応
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育学科>

科目名	保育内容（健康Ⅰ）			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育学科	2年幼保コース	前期	1	講義
担当教員	門倉洋輔			
実務経験	学童保育指導員（6年）			

授業概要
<p>子どもの健康を支援する保育者に必要な理論について、「保育所保育指針」の「健康領域」に関するねらいや内容の解説から学び、子どもの健康を意識した指導技術を習得する。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・保育における健康のねらい及び内容を理解する。 ・幼児期の心身の発達の理解、子どもを取り巻く環境の理解を深める。 ・子どもの健康に関する知識、指導技術を獲得し、保育の場で応用することができる。
準備学習
<p>学習内容を復習し、自分の考えをまとめる。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	なし
--------	----

授業計画		
回数	単元	内容
1	イントロダクション	子どもの生命を預かるということ
2	生活リズム	子どもの生活リズムの概要
3	栄養①	子どもの食について
4	栄養②	子どもの食に関する諸問題
5	栄養③	食育
6	栄養④	アレルギー緊急時対応
7	演習	子どもの健康に関わる保育実践
8	休養①	子ども睡眠について
9	休養②	子どもの睡眠に関する諸問題
10	運動①	子どもの運動について
11	運動②	幼児期の運動に関する指導法
12	運動③	子どもの運動に関する諸問題
13	発育・発達	子どもの発育・発達の概要
14	振り返り	振り返り・まとめ
15	まとめ	総括・科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育学科>

科目名	保育内容（健康Ⅰ）			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育学科	2年保育士コース	前期	1	講義
担当教員	門倉洋輔			
実務経験	学童保育指導員（6年）			

授業概要
<p>子どもの健康を支援する保育者に必要な理論について、「保育所保育指針」の「健康領域」に関するねらいや内容の解説から学び、子どもの健康を意識した指導技術を習得する。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・保育における健康のねらい及び内容を理解する。 ・幼児期の心身の発達の理解、子どもを取り巻く環境の理解を深める。 ・子どもの健康に関する知識、指導技術を獲得し、保育の場で応用することができる。
準備学習
<p>学習内容を復習し、自分の考えをまとめる。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	なし
--------	----

授業計画		
回数	単元	内容
1	イントロダクション	子どもの生命を預かるということ
2	生活リズム	子どもの生活リズムの概要
3	栄養①	子どもの食について
4	栄養②	子どもの食に関する諸問題
5	栄養③	食育
6	栄養④	アレルギー緊急時対応
7	演習	子どもの健康に関わる保育実践
8	休養①	子ども睡眠について
9	休養②	子どもの睡眠に関する諸問題
10	運動①	子どもの運動について
11	運動②	幼児期の運動に関する指導法
12	運動③	子どもの運動に関する諸問題
13	発育・発達	子どもの発育・発達の概要
14	振り返り	振り返り・まとめ
15	まとめ	総括・科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	保育の表現技術（声楽）			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	後期	1	演習
担当教員	間 正子			
実務経験	-			

授業概要
<p>保育の表現活動に必要な、声楽について理解し、身体の使い方や発声法について学ぶ。 保育現場で必要な音楽や歌について、活動内容を考察する。 こどもの歌、季節の歌、童謡、唱歌、わらべうたを、数多く覚えて、曲の「表現」についても学ぶ。 こどもの表現力を伸ばす活動を考える。</p>
到達目標
<p>乳幼児期における音楽の大切さと必要性を、歌を通して具体的に学び、表現することができる。 声楽の発声や呼吸法、歌い方について知り、表現しながら歌うことができる。 曲の表現や、内容を伝えられるよう、音楽や歌うことについての知識を深める。</p>
準備学習
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に親しむ。 ・手遊び歌を練習して覚える。 ・曲の内容表現について考える。
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	<p>「保育所保育指針解説」フレーベル館 「母とおさなごの歌」全音楽譜出版社 「音楽通論」教育芸術社</p>
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	授業ガイダンス	科目の概要について こどもの生活と音楽 秋の歌
2	保育現場の音楽	生活の歌、手遊び歌を用いた音楽活動
3	声楽の呼吸法と発声	呼吸体操、発声練習 声楽についての考察
4	音楽を活かした保育活動	現場での音楽活動を、具体的に立案する
5	音楽の基礎練習	リズム、階名読み、音程を正しく取ること こどもの歌
6	こどもの歌について	こどもの歌の種類や歴史について学ぶ
7	リズム遊びと合奏	打楽器を用いて合奏、歌を楽しむ
8	季節の歌	冬の歌を用いた、音楽活動
9	行事や四季で綴るこどもの歌	保育現場の行事を知り、四季を通じた歌を歌う
10	歌の表現技術①	歌に合わせた動きを考え、練習する（グループ活動）
11	歌の表現技術②	手遊び歌、振付曲の練習（グループ活動）
12	歌の表現技術③	手遊び歌、こどもの歌 振付発表（グループ発表）
13	こどもの歌のまとめ①	生活の歌、こどもの歌についてレパートリーを広げる
14	こどもの歌のまとめ②	生活の歌、こどもの歌についてのまとめ
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	保育の表現技術（声楽）			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	後期	1	演習
担当教員	間 正子			
実務経験	-			

授業概要
<p>保育の表現活動に必要な、声楽について理解し、身体の使い方や発声法について学ぶ。 保育現場で必要な音楽や歌について、活動内容を考察する。 こどもの歌、季節、行事の歌、童謡、唱歌、わらべうたを数多く覚えて、曲の「表現」についても学ぶ。 こどもの表現力を伸ばす活動を考える。</p>
到達目標
<p>乳幼児期における音楽の大切さと必要性を、歌を通して具体的に学び、表現することができる。 声楽の発声や呼吸法、歌い方について知り、表現しながら歌うことができる。 曲の表現や、内容を伝えられるよう、歌うことについて知識を深める。</p>
準備学習
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に親しむ。 ・手遊び歌を練習して覚える。 ・曲の内容表現について考える。
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	「保育所保育指針解説」フレーベル館 「母とおさなごの歌」全音楽譜出版社 「音楽通論」教育芸術社
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	授業ガイダンス	科目の概要について こどもの生活と音楽 秋の歌
2	保育現場の音楽	生活の歌、手遊び歌を用いた音楽活動
3	声楽の呼吸法と発声	呼吸体操、発声練習 声楽についての考察
4	音楽を活かした保育活動	現場での音楽活動を、具体的に立案する
5	音楽の基礎練習	リズム、階名読み、音程を正しく取ること こどもの歌
6	こどもの歌について	こどもの歌の種類や歴史について学ぶ
7	リズム遊びと合奏	打楽器を用いて合奏、歌を楽しむ
8	季節の歌	冬の歌を用いた、音楽活動
9	行事や四季で綴るこどもの歌	保育現場の行事を知り、四季を通じた歌を歌う
10	歌の表現技術①	歌に合わせた動きを考え、練習する（グループ活動）
11	歌の表現技術②	手遊び歌、振付曲の練習（グループ活動）
12	歌の表現技術③	手遊び歌、こどもの歌 振付発表（グループ発表）
13	こどもの歌のまとめ①	生活の歌、こどもの歌についてレパートリーを広げる
14	こどもの歌のまとめ②	生活の歌、こどもの歌についてのまとめ
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもと造形			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼児保コース	前期	1	演習
担当教員	瀧 将仁			
実務経験	-			

授業概要
乳幼児の表現活動の重要性や発達過程、造形的特徴を学びます。材料・用具・手法を基に「えがく」「つくる」「造形あそび」の題材や環境構成、援助のあり方を理解し、製作体験と結びつけます。保育実習Ⅱでは造形指導案を作成し、課題設定や指導計画を学び、実践と振り返りを通して理解を深めます。
到達目標
保育の内容を理解し、乳幼児の発達や教材の知識を学びます。材料・用具の操作体験を通じて実践的に学習し、造形の指導援助者としての力を養います。保育指導法「表現」の基本を理解し、表現活動の展開や援助の方法を習得し、保育者としての知識と技術を身につけます。
準備学習
保育学科2学年の主たる学習は幼稚園教育実習や保育実習Ⅱでの実践です。実習での部分・責任実習は非常に重要ですので、日頃からインターネットや書籍等を活用して造形指導案に関する情報収集や事前準備を心がけて下さい。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験の点数を評点とし、評価とする。

使用テキスト	配布資料、造形に必要な用具類
--------	----------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	幼児の造形教育について①	造形指導について 指導案作成の注意点
2	幼児の造形教育について①	造形指導案の案出し
3	幼児の造形教育について①	造形指導案の作成グループワーク①
4	幼児の造形教育について①	造形指導案の作成グループワーク②
5	幼児の造形教育について①	造形指導案の作成グループワーク③
6	幼児の造形教育について①	模擬保育①
7	幼児の造形教育について①	模擬保育②
8	幼児の造形教育について①	模擬保育③
9	幼児の造形教育について①	模擬保育④
10	幼児の造形教育について①	模擬保育⑤
11	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成①	責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
12	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成②	責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
13	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成③	責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
14	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成④	責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
15	こどもと造形	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもと造形			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	前期	1	演習
担当教員	瀧 将仁			
実務経験	-			

授業概要
乳幼児の表現活動の重要性や発達過程、造形的特徴を学びます。材料・用具・手法を基に「えがく」「つくる」「造形あそび」の題材や環境構成、援助のあり方を理解し、製作体験と結びつけます。保育実習Ⅱでは造形指導案を作成し、課題設定や指導計画を学び、実践と振り返りを通して理解を深めます。
到達目標
保育の内容を理解し、乳幼児の発達や教材の知識を学びます。材料・用具の操作体験を通じて実践的に学習し、造形の指導援助者としての力を養います。保育指導法「表現」の基本を理解し、表現活動の展開や援助の方法を習得し、保育者としての知識と技術を身につけます。
準備学習
保育学科2学年の主たる学習は保育実習Ⅱでの実践です。実習での部分・責任実習は非常に重要ですので、日頃からインターネットや書籍等を活用して造形指導案に関する情報収集や事前準備を心がけて下さい。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験の点数を評点とし、評価とする。

使用テキスト	配布資料、造形に必要な用具類
--------	----------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	造形指導案の作成①	責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
2	造形指導案の作成②	責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
3	造形指導案の作成③	責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
4	造形指導案の作成④	責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
5	造形指導案の作成⑤	責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
6	造形指導案の作成⑥	責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
7	振り返り①	造形指導及び援助の振り返り①
8	振り返り②	造形指導及び援助の振り返り②
9	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成①	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成①責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
10	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成②	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成②責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
11	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成③	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成③責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
12	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成④	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成④責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
13	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成⑤	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成⑤責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
14	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成⑥	保育実習Ⅱ 造形指導案の作成⑥責任実習・部分実習における造形指導及び援助について
15	こどもと造形	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		乳幼児保育Ⅱ		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	後期	1	演習
担当教員	倉島多摩代			
実務経験	保育所等にて、保育士・園長としての実務経験を有する。			

授業概要
<p>本科目では、乳幼児保育Ⅰで学習した基礎的知識を踏まえながら、乳幼児との関わりの具体的な方法や、子どもの成長発達を促すあそびの実践・保育教材の作成等、保育の場を想定したより実践的な学びを深めます。また、乳幼児保育における具体的な援助や配慮・計画の方法を学び、理解することを目的とします。</p>
到達目標
<p>①3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助の関わりの基本的な考え方について理解する。</p> <p>②養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活やあそびと保育の方法及び環境について理解する。</p> <p>③乳幼児保育における配慮の実際について理解する。</p> <p>④乳幼児保育における計画の作成について理解する。</p>
準備学習
<p>事前学習：教科書、配布資料等により講義内容を理解する。</p> <p>事後学習：各回の授業内容を振り返り、受講内容を理解する。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。</p> <p>定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	<p>「乳幼児保育Ⅰ」豊岡短期大学 「保育所保育指針解説」厚生労働省 「わかる・書ける・使える保育の基本用語」わかば社 他、配布資料等</p>
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス 保育教材作成	保育の場で実践できる保育教材作成
2	保育教材作成・発表	保育の場で実践できる保育教材作成 / 発表
3	乳幼児保育の基本①	子どもと保育士等の関係の重要性
4	乳幼児保育の基本②	子どもの主体性の尊重と自己の育ち
5	乳幼児保育の基本③	個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり
6	乳幼児保育の基本④	子どもの体験と学びの芽生え
7	乳児保育における生活と遊びの実際①	子どもの1日の生活の流れと保育の環境
8	乳児保育における生活と遊びの実際②	0歳児の発育・発達を踏まえた生活と援助の実際
9	乳児保育における生活と遊びの実際③	0歳児の発育・発達を踏まえたあそびと援助の実際
10	乳児保育における生活と遊びの実際④	1、2歳児の発育・発達を踏まえた生活と援助の実際
11	乳児保育における生活と遊びの実際⑤	1、2歳児の発育・発達を踏まえたあそびと援助の実際
12	乳幼児保育における計画の実際①	全体的な計画と指導計画①「長期的な計画と短期的な計画」
13	乳幼児保育における計画の実際②	全体的な計画と指導計画②「長期的な計画と短期的な計画」
14	乳児保育における配慮の実際①	子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもの健康と安全			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼児コース	前期	1	演習
担当教員	三浦由美			
実務経験	-			

授業概要
①保育現場において保健活動の知識を育てる授業 ②子どもの健康教育が適切に実践できる授業 ③子どもの病気・ケガの対応ができる授業 ④子どもの救命手技が身に付く授業
到達目標
「子どもの保健」で学んだ知識を基に、保育者として、子どもの健康の保育増進および安全対策に必要な援助技術を修得する
準備学習
事前学習：教科書などにより講義内容を把握に努める 事後学習：各自振り返りに努める
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	子どもの健康と安全（中央法規出版）
--------	-------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	健康の土台をつくるもの①	健康へのアプローチとしての栄養を学ぶ（食育の基礎）
2	健康の土台をつくるもの②	健康へのアプローチとしての栄養を学ぶ（食育の実際）
3	健康において育むもの	食習慣 子どもの食と問題（偏食など）
4	衛生管理	手洗い法、スタンダードプリコーション、手袋着脱法を学ぶ
5	子どもの主な症状の対応	発熱、痙攣発作、咳嗽、熱中症
6	意識の急変への対応について学ぶ	アナフラキシーショック、喘息、1型糖尿病
7	第一次救命処置①	乳児、小児のCPR（AED含めた）
8	第一次救命処置②	成人のCPR、回復体位
9	第一次救命処置③	異物除去法（乳児、小児）
10	ケガの対応（応急処置）	外傷対応、包帯法、三角巾固定、浸潤療法
11	アレルギー対応	アトピー性皮膚炎、喘息
12	食物アレルギー対応	重症度判定、エピベン注射
13	アレルギー最新情報①	慢性疾患分野における新知見
14	アレルギー最新情報②	保護者対応
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもの健康と安全			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	前期	1	演習
担当教員	三浦由美			
実務経験	-			

授業概要
①保育現場において保健活動の知識を育てる授業 ②子どもの健康教育が適切に実践できる授業 ③子どもの病気・ケガの対応ができる授業 ④子どもの救命手技が身に付く授業
到達目標
「子どもの保健」で学んだ知識を基に、保育者として、子どもの健康の保育増進および安全対策に必要な援助技術を修得する
準備学習
事前学習：教科書などにより講義内容を把握に努める 事後学習：各自振り返りに努める
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	子どもの健康と安全（中央法規出版）
--------	-------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	健康の土台をつくるもの①	健康へのアプローチとしての栄養を学ぶ（食育の基礎）
2	健康の土台をつくるもの②	健康へのアプローチとしての栄養を学ぶ（食育の実際）
3	健康において育むもの	食習慣 子どもの食と問題（偏食など）
4	衛生管理	手洗い法、スタンダードプリコーション、手袋着脱法を学ぶ
5	子どもの主な症状の対応	発熱、痙攣発作、咳嗽、熱中症
6	意識の急変への対応について学ぶ	アナフラキシーショック、喘息、1型糖尿病
7	第一次救命処置①	乳児、小児のCPR（AED含めた）
8	第一次救命処置②	成人のCPR、回復体位
9	第一次救命処置③	異物除去法（乳児、小児）
10	ケガの対応（応急処置）	外傷対応、包帯法、三角巾固定、浸潤療法
11	アレルギー対応	アトピー性皮膚炎、喘息
12	食物アレルギー対応	重症度判定、エピベン注射
13	アレルギー最新情報①	慢性疾患分野における新知見
14	アレルギー最新情報②	保護者対応
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		障害児保育		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	後期	2	演習
担当教員	大部 さつき			
実務経験	保育士・園長としての実務経験を有する。			

授業概要	
<p>保育及び教育現場では個別的なニーズを有する幼児への適切な支援や配慮が欠かせない。障害についての基本的考え方について理解する。</p>	
到達目標	
<p>①特別な支援を必要とする幼児の障害の特性および心身の発達について理解する。 ②特別な支援を必要とする幼児に対する支援や 関係機関との連携について理解する。 ③障害児その他の特別な配慮を要する子どもの現状と課題について理解する。</p>	
準備学習	
<p>日々の生活の中で、人の暮らしやすさを考えておく</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	配布された資料他
--------	----------

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の内容を把握し「障害」について考える
2	障害児保育の歴史	これまでの障害児保育・教育
3	障害受容と心の支援	保護者とのかかわりを考える
4	障害の理解と支援①	知的障害
5	障害の理解と支援②	発達障害
6	障害の理解と支援③	肢体不自由
7	障害の取組	障害者週間・人権週間について考える
8	自閉症について	自閉症の人が見ている世界～子ども～
9	自閉症について	自閉症の人が見ている世界～大人～
10	教育現場	特別支援学校～学校～
11	教育現場	特別支援学校～学校～
12	思春期・青年期	中学校・高等学校における障害のある子どもの生活
13	障害児保育と教育	インクルージョンと合理的配慮
14	まとめ	
15	課題試験	

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		障害児保育		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	後期	2	演習
担当教員	大部さつき			
実務経験	保育士・園長としての実務経験を有する。			

授業概要	
<p>保育及び教育現場では個別的なニーズを有する幼児への適切な支援や配慮が欠かせない。障害についての基本的考え方について理解する。</p>	
到達目標	
<p>①特別な支援を必要とする幼児の障害の特性および心身の発達について理解する。 ②特別な支援を必要とする幼児に対する支援や 関係機関との連携について理解する。 ③障害児その他の特別な配慮を要する子どもの現状と課題について理解する。</p>	
準備学習	
<p>日々の生活の中で、人の暮らしやすさを考えておく</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	配布された資料他
--------	----------

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の内容を把握し「障害」について考える
2	障害児保育の歴史	これまでの障害児保育・教育
3	障害受容と心の支援	保護者とのかかわりを考える
4	障害の理解と支援①	知的障害
5	障害の理解と支援②	発達障害
6	障害の理解と支援③	肢体不自由
7	障害の取組	障害者週間・人権週間について考える
8	自閉症について	自閉症の人が見ている世界～子ども～
9	自閉症について	自閉症の人が見ている世界～大人～
10	教育現場	特別支援学校～学校～
11	教育現場	特別支援学校～学校～
12	思春期・青年期	中学校・高等学校における障害のある子どもの生活
13	障害児保育と教育	インクルージョンと合理的配慮
14	まとめ	
15	課題試験	

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	子育て支援			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	前期	1	演習
担当教員	米田 朝香			
実務経験	高等学校等において、スクールカウンセラーとしての実務経験を有する。			

授業概要
この授業では、保育所・認定こども園などにおいて保育者が行う子育て支援の理論や方法についての学びを深めることを目的とする。そのため、子育て支援に必要な基本的な知識の修得に加え、様々な事例をもとに個人ワークやグループワークを通して「子育て支援」についての理解を深めていく。
到達目標
① 子育て支援に関する基本的な知識を修得し、様々な事例を通して保育士に求められる支援の内容や方法を具体的に理解する。 ② 子育て支援を取り巻く社会の流れや変化に関心を持ち、自分は支援者として「子育て支援」をどのように感じ、どのような支援者像を持っているかといった自身の気づきや理解も深める。
準備学習
事前学習：次の回のテキストを精読し、内容を把握しておくこと。 事後学習：授業の内容を振り返りまとめる。また、その回に学んだことと関連のある社会での出来事に関心を持つこと。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	『子育て支援 1 5 のストーリーで学ぶワークブック』萌文書林（2018）□
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	授業の進め方や内容の説明・子育て支援とは
2	子育て支援の理論①	子育て支援の意義
3	子育て支援の理論②	子育て支援の基本的価値・倫理
4	子育て支援の理論③	子育て支援の基本的姿勢
5	子育て支援の理論④	子育て支援の基本的技術
6	子育て支援の基本⑤	園内・園外との連携と社会資源
7	子育て支援の基本⑥	記録・評価・研修
8	子育て支援の実践①	日常会話を活用した子育て支援
9	子育て支援の実践②	文章を活用した子育て支援
10	子育て支援の実践③	行事などを活用した子育て支援
11	子育て支援の実践④	環境を活用した子育て支援
12	子育て支援の実践⑤	地域子育て支援拠点における支援
13	子育て支援の実践⑥	入所施設における子育て支援
14	子育て支援の実践⑦	通所施設における子育て支援
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	子育て支援			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	前期	1	演習
担当教員	米田 朝香			
実務経験	高等学校等において、スクールカウンセラーとしての実務経験を有する。			

授業概要
この授業では、保育所・認定こども園などにおいて保育者が行う子育て支援の理論や方法についての学びを深めることを目的とする。そのため、子育て支援に必要な基本的な知識の修得に加え、様々な事例をもとに個人ワークやグループワークを通して「子育て支援」についての理解を深めていく。
到達目標
① 子育て支援に関する基本的な知識を修得し、様々な事例を通して保育士に求められる支援の内容や方法を具体的に理解する。 ② 子育て支援を取り巻く社会の流れや変化に関心を持ち、自分は支援者として「子育て支援」をどのように感じ、どのような支援者像を持っているかといった自身の気づきや理解も深める。
準備学習
事前学習：次の回のテキストを精読し、内容を把握しておくこと。 事後学習：授業の内容を振り返りまとめる。また、その回に学んだことと関連のある社会での出来事に関心を持つこと。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	『子育て支援 1 5 のストーリーで学ぶワークブック』萌文書林（2018）
--------	---------------------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	授業の進め方や内容の説明・子育て支援とは
2	子育て支援の理論①	子育て支援の意義
3	子育て支援の理論②	子育て支援の基本的価値・倫理
4	子育て支援の理論③	子育て支援の基本的姿勢
5	子育て支援の理論④	子育て支援の基本的技術
6	子育て支援の基本⑤	園内・園外との連携と社会資源
7	子育て支援の基本⑥	記録・評価・研修
8	子育て支援の実践①	日常会話を活用した子育て支援
9	子育て支援の実践②	文章を活用した子育て支援
10	子育て支援の実践③	行事などを活用した子育て支援
11	子育て支援の実践④	環境を活用した子育て支援
12	子育て支援の実践⑤	地域子育て支援拠点における支援
13	子育て支援の実践⑥	入所施設における子育て支援
14	子育て支援の実践⑦	通所施設における子育て支援
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		教職実践演習（幼・小）		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	後期	2	演習
担当教員	中村 リヨ			
実務経験	幼稚園教諭・園長としての実務経験を有する。			

授業概要	
<p>これまでに形成された資質能力を確認し、これからの自己課題の自覚と克服に努める。 教職生活を円滑にスタートできるように、学校現場の視点に立った様々な場面でのリスクマネジメント や 保育カンファレンス及び保育実技を通して、実践的指導力を身に付ける。</p>	
到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育における集団の編成について学び、幼稚園教育の理解へと発展させる。 ・幼稚園教育において特に重要な学習知を確認して、より実践的な教育の養成を図る。 ・授業における学習知を基に、実践知を統合して確かな実践的指導力を身に付け、教職への意欲を醸成する。 	
準備学習	
<p>授業時配付資料を熟読し、講義内容を復習する。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>	

使用テキスト	資料は授業時に配付 「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	科目概要の説明
2	教師という職業①	教職の意義
3	教師という職業②	教師に求められる資質と能力、 研究・研修の必要性
4	学級経営①	学級とは 学級経営とは
5	学級経営②	学級経営の位置づけ
6	学級経営③	学級担任の役割、 学級経営案の作り方
7	子どもの理解①	幼児教育の基本的な視点
8	子どもの理解②	集団とともに成長する個を育てる
9	子どもの理解③	基盤となる「温かい関係」と愛される経験から愛することへ
10	子どもの理解④	子どもを保育実践の中で理解する
11	特別支援教育	障害のある子どもの教育支援の基本的な考え方
12	小学校教育との接続①	小学校教育との接続と連携の背景
13	小学校教育との接続②	幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のために
14	安全で安心な保育実践をするために	命を預かる保育者と危機管理
15	まとめ	定期試験

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		特別支援教育		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼児保コース	前期	1	講義
担当教員	野村 明洋			
実務経験	保育士・園長としての実務経験を有する。			

授業概要
<p>幼児期の特別支援教育の理念と制度を理解し、発達に課題のある幼児への適切な支援方法を学ぶ。障害特性の理解を基盤に、インクルーシブ教育の視点から環境構成や個別支援計画、関係機関連携を検討し、事例や演習を通して実践的知識と技能の習得を目指す。</p>
到達目標
<ol style="list-style-type: none"> 1. 理念・法制度を理解する 2. 障害特性から行動背景を考察する 3. 個別支援（環境・関わり）を提案する 4. 指導・支援計画を作成する 5. 保護者・関係機関連携を理解する
準備学習
<ul style="list-style-type: none"> ・各回の指定資料（教科書・配布資料）を事前に読み、要点を整理する。 ・授業後はノート整理およびミニレポート作成により理解を定着させる。 ・事例検討回では、自身の考えをまとめておくこと。
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	<p>「特別支援教育」 著者 野口和也 渡辺隼人他 豊岡短期大学通信教育部発行 平成31年3月31日発行</p>
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	特別支援教育の理念 授業内容についての説明
2	特別支援教育の制度と法的枠組み	障害者差別解消法、学校教育法、障害者基本法 等
3	インクルーシブ教育の理念と実際	共生社会の実現に向けた教育の在り方と現場での課題を理解する。
4	幼児期の発達理解と多様性	発達の個人差と環境の影響を踏まえ、多様性理解の基盤を築く。
5	視覚障害・聴覚障害	感覚障害に応じた環境構成と情報保障の方法を学ぶ。
6	レポート作成の手引き・指導	レポートの内容、構成、評価基準を示し、作成方法を具体的に指導する。
7	知的障害	認知や適応行動の特徴を理解し、発達段階に応じた支援を考える。
8	肢体不自由／病弱・医療的ケア児	肢体不自由／病弱・医療的ケア児
9	発達障害①（ASD）	対人関係やこだわりの特性と具体的支援を学ぶ。
10	発達障害②（ADHD）	不注意・多動性への対応と環境調整を理解する。
11	発達障害③（LD）	学習の困難さの背景を理解し、個別支援の工夫を考える。
12	LGBTQと子ども理解／外国につながる子ども	多様な背景をもつ子どもへの配慮と包摂的環境づくりを考える。
13	障害受容と保護者支援	障害受容の過程と保護者への関わり方を理解する。
14	地域理解と社会資源の活用	療育機関、医療、福祉、行政等の地域資源と連携の在り方を学ぶ。
15	特別支援教育コーディネーターの役割／総括	園内外の連携調整機能を理解し、学びを統合する。
		※授業の進行や社会情勢によっては、授業内容と計画を変更する可能性がある。

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		特別支援教育		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	前期	1	講義
担当教員	野村 明洋			
実務経験	保育士・園長としての実務経験を有する。			

授業概要	
<p>幼児期の特別支援教育の理念・制度を理解し、障害特性に応じた支援や環境構成、関わり方を学ぶ。インクルーシブの視点と家庭・地域連携、障害受容を踏まえ実践力を養う。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援教育の理念と法制度を理解する 2. 障害特性を踏まえ幼児の行動背景を考察する 3. 個に応じた支援や環境構成を提案する 4. インクルーシブの視点で保育実践を捉え直す 5. 家庭・地域との連携の重要性を理解し説明する 	
準備学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・各回のテーマに関する基礎用語を事前に確認する。 ・配布資料や教科書の該当箇所を読み、疑問点を整理する。 ・日常の保育場面や実習経験と関連付けて考察する。 	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	適宜配布
--------	------

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	特別支援教育の理念 授業内容についての説明
2	特別支援教育の制度と法的枠組み	障害者差別解消法、学校教育法、障害者基本法 等
3	インクルーシブ教育の理念と実際	共生社会の実現に向けた教育の在り方と現場での課題を理解する。
4	発達理解の基礎	発達の原理・個人差・気になる子どもの捉え方
5	視覚障害・聴覚障害	感覚障害の特性とコミュニケーション支援
6	環境構成による支援	物的環境・人的環境の工夫による行動支援
7	知的障害の理解	発達の遅れと生活支援・段階的支援の考え方
8	肢体不自由・医療的ケア児	身体的制約の理解と安全配慮・保育環境の工夫
9	発達障害① (ASD)	特性理解 (対人関係・こだわり) と支援の基本
10	発達障害② (ADHD)	不注意・多動性・衝動性の理解と対応
11	発達障害③ (LD)	学習の困難さと就学前における支援
12	LGBTQと子ども理解／外国につながる子ども	多様な背景をもつ子どもへの配慮と包摂的環境づくりを考える。
13	障害受容と家族支援	保護者理解・心理過程・家庭との協働
14	地域理解と社会資源の活用	療育機関、医療、福祉、行政等の地域資源と連携の在り方を学ぶ。
15	特別支援教育コーディネーターの役割／総括	園内外の連携調整機能を理解し、学びを統合する。
		※授業の進行や社会情勢によっては、授業内容と計画を変更する場合があります。

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもと文化			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	後期	2	演習
担当教員	倉島多摩代			
実務経験	保育所等にて、保育士・園長としての実務経験を有する。			

授業概要
日本に受け継がれている児童文化、児童文化財について理解を深め、絵本、紙芝居、ペープサート、シアター等様々な種類の児童文化財を用いて、子どもの発達や興味・関心に沿った演じ方を習得する。
到達目標
①児童文化財の持つ意味を知り、保育の現場に生かせる知識を持つ。 ②児童文化財の理解を深め、演習を通して子どもと適切に接することができる。
準備学習
事前学習：配布資料等により講義、演習内容を把握する。 事後学習：各回の授業内容を振り返り、受講内容を理解する。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス 保育教材作成	保育の場で実践できる保育教材作成
2	保育教材作成・発表	保育の場で実践できる保育教材作成 / 発表
3	こどもと文化とは	こどもと文化について
4	絵本について	絵本の読み聞かせの基本
5	絵本について	絵本の読み聞かせ・演習①
6	絵本について	絵本の読み聞かせ・演習②
7	紙芝居・手あそびについて	紙芝居の演じ方 / 手遊び、紙芝居の演習①
8	紙芝居・手あそびについて	手遊び、紙芝居の演習②
9	児童文化財研究①	児童文化財を使った演習 / 児童文化財（手袋シアター）作成準備
10	児童文化財研究②	児童文化財（手袋シアター）作成①
11	児童文化財研究③	児童文化財（手袋シアター）作成②
12	児童文化財研究④	児童文化財（手袋シアター）作成③
13	児童文化財研究⑤	児童文化財（手袋シアター）作成④ / 発表練習
14	児童文化財研究⑥	児童文化財（手袋シアター）作成⑤ / 発表練習
15	まとめ	科目まとめ（手袋シアター発表）

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもと文化			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	後期	2	演習
担当教員	倉島 多摩代			
実務経験	保育所等にて、保育士・園長としての実務経験を有する。			

授業概要
日本に受け継がれている児童文化、児童文化財について理解を深め、絵本、紙芝居、ペープサート、シアター等様々な種類の児童文化財を用いて、子どもの発達や興味・関心に沿った演じ方を習得する。
到達目標
<p>事前学習：配布資料等により講義、演習内容を把握する。</p> <p>事後学習：各回の授業内容を振り返り、受講内容を理解する。</p>
準備学習
<p>・乳幼児のための絵本。紙芝居。わらべ歌などに親しんでおく。</p> <p>授業内で学んだことを自分なりに応用、工夫して教材作成を行う。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含まない。</p> <p>定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス 保育教材作成	保育の場で実践できる保育教材作成
2	保育教材作成・発表	保育の場で実践できる保育教材作成 / 発表
3	こどもと文化とは	こどもと文化について
4	絵本について	絵本の読み聞かせの基本
5	絵本について	絵本の読み聞かせ・演習①
6	絵本について	絵本の読み聞かせ・演習②
7	紙芝居・手あそびについて	紙芝居の演じ方 / 手遊び、紙芝居の演習①
8	紙芝居・手あそびについて	手遊び、紙芝居の演習②
9	児童文化財研究①	児童文化財を使った演習 / 児童文化財（手袋シアター）作成準備
10	児童文化財研究②	児童文化財（手袋シアター）作成①
11	児童文化財研究③	児童文化財（手袋シアター）作成②
12	児童文化財研究④	児童文化財（手袋シアター）作成③
13	児童文化財研究⑤	児童文化財（手袋シアター）作成④ / 発表練習
14	児童文化財研究⑥	児童文化財（手袋シアター）作成⑤ / 発表練習
15	まとめ	科目まとめ（手袋シアター発表）

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	健康論			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	前期	1	講義
担当教員	三浦由美			
実務経験	-			

授業概要
<p>①健康の意味、健康にかかわる子どもの生活実態および心身の健康を把握する</p> <p>②危機管理・災害・防災を学ぶことで安全な場での保育を提供できる方法を理解する</p> <p>③危機管理・災害そして栄養（食育）を学ぶことで子ども達の「健康」に繋げ方法を理解する</p>
到達目標
<p>危機管理・安全教育、災害学そして栄養学（食育）を学ぶことで子どもたちの命を護る術をみにつけ「健康」に繋げることができる。</p>
準備学習
<p>事前学習：教科書などにより講義内容を把握に努める 事後学習：各自振り返りに努める</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。</p> <p>定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	健康論 豊岡短期大学
--------	------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	健康の土台をつくるもの①	健康へのアプローチとしての栄養を学ぶ（食育の基礎）
2	健康の土台をつくるもの②	健康へのアプローチとしての栄養を学ぶ（食育の実際）
3	健康において育むもの	食習慣 子どもの食と問題（偏食など）
4	安全環境をつくる①	安全配慮義務、責任の所在について学ぶ
5	安全環境をつくる②	民事責任、刑事責任、国家賠償法について学ぶ（園の裁判事例）
6	子どものケガの実際	園におけるケガの実態の把握し子どもの身体的特徴を学ぶ
7	再発防止の考え方	障害予防のためのアプローチ（A,B,C理論）、SHELLmモデルについて学ぶ
8	災害総論①	園における自然災害対策、避難訓練について学ぶ
9	災害総論②	DVDを通して安全教育を学ぶ
10	ハザードマップ作成①	チャイルドビジョン作成し、校舎内・外の危険を探す
11	ハザードマップ作成②	ハザードマップ作成演習
12	ハザードマップ作成③	ハザードマップ作成演習
13	ハザードマップ発表	ハザードマップ発表
14	健康環境媒体作成	食育、保健等の媒体作成
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	健康論			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	前期	1	講義
担当教員	三浦由美			
実務経験	-			

授業概要
<p>①健康の意味、健康にかかわる子どもの生活実態および心身の健康を把握する</p> <p>②危機管理・災害・防災を学ぶことで安全な場での保育を提供できる方法を理解する</p> <p>③危機管理・災害そして栄養（食育）を学ぶことで子ども達の「健康」に繋げ方法を理解する</p>
到達目標
<p>危機管理・安全教育、災害学そして栄養学（食育）を学ぶことで子どもたちの命を護る術をみにつけ「健康」に繋げることができる。</p>
準備学習
<p>事前学習：教科書などにより講義内容を把握に努める 事後学習：各自振り返りに努める</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。</p> <p>定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	健康論 豊岡短期大学
--------	------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	健康の土台をつくるもの①	健康へのアプローチとしての栄養を学ぶ（食育の基礎）
2	健康の土台をつくるもの②	健康へのアプローチとしての栄養を学ぶ（食育の実際）
3	健康において育むもの	食習慣 子どもの食と問題（偏食など）
4	安全環境をつくる①	安全配慮義務、責任の所在について学ぶ
5	安全環境をつくる②	民事責任、刑事責任、国家賠償法について学ぶ（園の裁判事例）
6	子どものケガの実際	園におけるケガの実態の把握し子どもの身体的特徴を学ぶ
7	再発防止の考え方	障害予防のためのアプローチ（A,B,C理論）、SHELLmモデルについて学ぶ
8	災害総論①	園における自然災害対策、避難訓練について学ぶ
9	災害総論②	DVDを通して安全教育を学ぶ
10	ハザードマップ作成①	チャイルドビジョン作成し、校舎内・外の危険を探す
11	ハザードマップ作成②	ハザードマップ作成演習
12	ハザードマップ作成③	ハザードマップ作成演習
13	ハザードマップ発表	ハザードマップ発表
14	健康環境媒体作成	食育、保健等の媒体作成
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	環境論			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼児コース	前期	1	講義
担当教員	中村 リヨ			
実務経験	幼稚園教諭・園長としての実務経験を有する。			

授業概要
環境を通して行う保育の意味をしっかりと学習し、保育者自身が保育環境をデザインする力を身につける必要がある。そのために具体的な環境例を示しながら、それらと子どもの発達の関係性について学ぶ。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子どもの発達と環境の関係性を考える ・環境を通して行う保育の意味を知る ・保育環境のデザインを実践できる ・様々な環境との出会いを理解する
準備学習
テキスト「環境論」を熟読し、講義内容を復習する。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	「環境論」(豊岡短期大学) 「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	科目概要の説明
2	環境の定義①	環境の意味を理解する
3	環境の定義②	子どもの発達と環境
4	領域「環境」の位置づけ①	人的環境 物的環境
5	領域「環境」の位置づけ②	自然環境 社会・文化環境
6	保育と環境①	室内環境
7	保育と環境②	屋外環境
8	行事①	行事の捉え方
9	行事②	季節の行事
10	行事③	伝統行事
11	地域探検①	園の周辺地域の理解
12	地域探検②	園の周辺地域の施設活用
13	保育者の専門性①	保育者の専門性
14	保育者の専門性②	保育者マインド向上
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	環境論			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	後期	1	講義
担当教員	中村 リヨ			
実務経験	幼稚園教諭・園長としての実務経験を有する。			

授業概要
環境を通して行う保育の意味をしっかりと学習し、保育者自身が保育環境をデザインする力を身につける必要がある。そのために具体的な環境例を示しながら、それらと子どもの発達の関係性について学ぶ。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子どもの発達と環境の関係性を考える ・環境を通して行う保育の意味を知る ・保育環境のデザインを実践できる ・様々な環境との出会いを理解する
準備学習
授業時配付資料を熟読し、講義内容を復習する。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、課題評価10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	資料は授業時に配付 「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	科目概要の説明
2	環境の定義①	環境の意味を理解する
3	環境の定義②	子どもの発達と環境
4	領域「環境」の位置づけ①	人的環境 物的環境
5	領域「環境」の位置づけ②	自然環境 社会・文化環境
6	保育と環境①	室内環境
7	保育と環境②	屋外環境
8	行事①	行事の捉え方
9	行事②	季節の行事
10	行事③	伝統行事
11	地域探検①	園の周辺地域の理解
12	地域探検②	園の周辺地域の施設活用
13	保育者の専門性①	保育者の専門性
14	保育者の専門性②	保育者マインド向上
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもと体育			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	前期	1	演習
担当教員	水原 佐和子			
実務経験	-			

授業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児向けの運動遊びを様々な方面から検討する ・具体的には、指導案を作成し運動遊びの計画立案、実践、その後の振り返りを通じ、保育現場における運動遊びへの関わり方を学ぶ ・乳幼児の運動発達について理解を深める <p>※授業の進捗状況により、内容を変更する場合があります</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 年齢や発達段階に即した運動遊びの具体的内容を検討する 2. それぞれの運動遊びについて、ねらいを通じた実践内容を計画する 3. 必要な環境設定や安全配慮を工夫する 4. 1～3について指導案上で実施計画を組み立て、個別発表を通じその内容を実践する 	
準備学習	
日頃から子どものあらゆる身体動作によく注目すること	
成績評価	
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)	

使用テキスト	適宜配布
--------	------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	今後の学習について
2	遊びとねらいの理解/幼児期運動指針	遊びのねらい：映像視聴/部分実習指導案作成（計画、ねらいの設定）
3	運動遊びの計画立案	部分実習指導案作成（仕上げ）
4	個別発表	演習：個別発表
5	個別発表	演習：個別発表
6	個別発表	演習：個別発表
7	個別発表振り返り	振り返りと指導案修正、仕上げ
8	運動遊び振り返り（教育実習）①	記録作成
9	運動遊び振り返り（教育実習）②	報告
10	運動実技	幼児期に身につけたい36の基本動作、調整力①
11	運動実技	幼児期に身につけたい36の基本動作、調整力②
12	乳幼児の運動発達①	原始反射、発達の一般原則、新生児期～定頸
13	乳幼児の運動発達②	定頸～寝返り～おすわり～様々なハイハイの形
14	乳幼児の運動発達③	つかまり立ち～一人歩き/上手に歩き始めるころ/まとめ
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名		こどもと体育		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	前期	1	演習
担当教員	水原 佐和子			
実務経験	-			

授業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児向けの運動遊びを様々な方面から検討する ・具体的には、指導案を作成し運動遊びの計画立案、実践、その後の振り返りを通じ、保育現場における運動遊びへの関わり方を学ぶ ・乳幼児の運動発達について理解を深める 	
※授業の進捗状況により、内容を変更する場合があります	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 年齢や発達段階に即した運動遊びの具体的内容を検討する 2. それぞれの運動遊びについて、ねらいを通じた実践内容を計画する 3. 必要な環境設定や安全配慮を工夫する 4. 1～3について指導案上で実施計画を組み立て、個別発表を通じその内容を実践する 	
準備学習	
日頃から子どものあらゆる身体動作によく注目すること	
成績評価	
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)	

使用テキスト	適宜配布
--------	------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	今後の学習について
2	遊びとねらいの理解／幼児期運動指針	遊びのねらい：映像視聴／部分実習指導案作成（計画、ねらいの設定）
3	運動遊びの計画立案	部分実習指導案作成（仕上げ）
4	個別発表	演習：個別発表
5	個別発表	演習：個別発表
6	個別発表	演習：個別発表
7	個別発表振り返り	振り返りと指導案修正、仕上げ
8	運動遊び振り返り（教育実習）①	記録作成
9	運動遊び振り返り（教育実習）②	報告
10	運動実技	幼児期に身につけたい36の基本動作、調整力①
11	運動実技	幼児期に身につけたい36の基本動作、調整力②
12	乳幼児の運動発達①	原始反射、発達の一般原則、新生児期～定頸
13	乳幼児の運動発達②	定頸～寝返り～おすわり～様々なハイハイの形
14	乳幼児の運動発達③	つかまり立ち～一人歩き／上手に歩き始めるころ／まとめ
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	こどもの理解と相談支援			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	前期	2	講義
担当教員	弓田千春			
実務経験	高等学校等において、スクールカウンセラーとしての実務経験を有する。			

授業概要
<p>教育相談では、進路相談や人間関係の相談から障害や精神疾患の対応など、非常に幅広く、様々な問題について、個人へのアプローチだけでなく、環境調整も行う。これらを前提に、教員としての具体的な支援者像を持ち、心理学や精神医学の知見から問題に対する理解を深め、支援に対する多角的な視点を養うことを目指す。</p>
到達目標
<p>心理学の諸理論についての知識を獲得し、問題の見立てや対応に活用できる。 児童・生徒、保護者、校内外の関係機関など、多様な対象への適切なカウンセリングスキルの獲得。 自分自身の認知の仕方や行動傾向などを分析し、自己理解を深める。</p>
準備学習
<p>授業前は資料や教科書で予習する。授業中はノートテイクに集中し、わからないことはなるべく授業中に質問すること。授業後の復習が重要であるため、作成したノートをもとに理解を深めること。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験の点数を評点とし、評価とする。</p>

使用テキスト	資料等は後日配布する。
--------	-------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンス、教育相談とは何か
2	心理学の諸理論 1	理論から実践へ 1 ～「無意識」の考え方
3	心理学の諸理論 2	理論から実践へ 2 ～防衛機制、転移、逆転移とはなにか
4	心理学の諸理論 3	理論から実践へ 3 ～カウンセリングマインドを理解し実施すること
5	心理学の諸理論 4	理論から実践へ 4 ～守秘義務について
6	コミュニケーション論 1	観察からわかること
7	コミュニケーション論 2	声掛けや応答、傾聴のテクニック
8	校内外連携	学校という組織、学外の専門機関、家庭との連携と教員の役割について
9	発達課題と発達上起こりうる問題	生涯発達における発達課題と各時期で起こりうる問題について
10	発達障害について①	自閉症スペクトラム障害（自閉症、アスペルガー障害）についての理解と対応
11	発達障害について②	ADHDについての理解と対応
12	発達障害について③	学習障害についての理解と対応
13	発達障害について④	発達障害グレーゾーンについての理解と対応、インクルーシブ教育について考える
14	教員のメンタルヘルス	教員の抱えるストレスとストレス対応について
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	教育方法論			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	前期	2	講義
担当教員	林 若子			
実務経験	-			

授業概要
「教育方法」(メソッド)とは、マニュアルではなく、どのような人間形成をめざすのかという教育観および子どもの発達段階における特徴を踏まえたものである。この授業ではそうした様々なメソッドを具体的な事例も交えて学習する。
到達目標
1,子どもの各発達の特徴に沿った教育方法を理解する。 2,「気になる子」をどう捉えるかを理解する。 3,様々な教育方法の特徴を理解する。
準備学習
次回の予習をする
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	『教育方法論』稲田達也ほか 豊岡短期大学 『どの子にもあ～楽しかった！の毎日』赤木和重ほか ひとなる書房
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	3歳未満児の教育方法①	0～2歳児期の発達の特徴と指導の観点①
2	3歳未満児の教育方法②	0～2歳児期の発達の特徴と指導の観点②
3	3歳児クラスの教育方法	3～4歳児期の発達の特徴と指導の観点
4	4歳児クラスの教育方法	4～5歳児期の発達の特徴と指導の観点
5	5歳児クラスの教育方法	5～6歳児期の発達の特徴と指導の観点
6	異年齢保育の方法	異年齢保育の様々な形態 子どもの育ちの可能性
7	「気になる子」の教育方法①	「気になる子」をどう捉えるか 「気になる子」の事例 「気になる子」と言わない実践①
8	「気になる子」の教育方法②	「気になる子」の事例 「気になる子」と言わない実践②
9	環境を通して行う教育	環境を通じた教育のねらい、事例
10	ドルトンブフン 森の幼稚園	ドルトンブフンの特徴 森の幼稚園の特徴と育み
11	デューイとキルパトリック	デューイとキルパトリックの思想 プロジェクトメソッドと現代教育
12	授業分析の方法	授業の記録と分析
13	幼児教育と小学校教育	幼児教育と小学校教育の相違 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
14	科目のまとめ①	
15	科目のまとめ②	

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	教育実習			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	前期	4	実習
担当教員	倉島 多摩代、米田 朝香、間 正子、水原 佐和子			
実務経験				

授業概要
<p>観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になる上での能力や適性を考えるとともに自らの課題を自覚する機会である。 また、学校教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践の基礎的な能力と態度を身につける。</p>
到達目標
<p>①教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚したうえで意欲的に実習に参加できる。 ②子どもとの関わりを通して、その実態や課題を把握する。 ③幼稚園教育要領および幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し、保育を実践することができる。</p>
準備学習
<p>実習開始前には、実習先園と事前オリエンテーションを実施する。 実習簿の準備をする。 責任実習に向けて、子どもの実態に沿った指導案を作成し、準備を行う。</p>
成績評価
<p>規定された実習時間を全て終了することにより、実習園（施設）の責任者より実習の評価がされる。 実習園の評価と教育連携校である豊岡短期大学の評価も併せて総合的に評価される。</p>

使用テキスト	<p>『新しい保育講座 保育・教育実習』 ミネルヴァ書房 『学びつづける保育者をめざす実習の本 保育所・施設・幼稚園』 萌文書林 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 フレーベル館</p>
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	観察・参加	実習園について理解する
2	観察・参加	幼稚園の一日の流れを理解し、積極的に参加する
3	観察・参加	子どもの観察や関わりを通して、幼児の発達を理解する
4	観察・参加	幼稚園の役割と機能を理解する
5	観察・参加	子ども理解に基づく援助の実際を学ぶ
6	参加・部分	生活やあそびの一部を担当し、保育の技術を習得する①
7	参加・部分	生活やあそびの一部を担当し、保育の技術を習得する②
8	参加・部分	子どもの発達過程に応じた保育内容を学ぶ
9	参加・部分	実践を通して記録や考察を深める①
10	参加・部分	実践を通して記録や考察を深める②
11	部分	園の保育計画を理解し、責任実習に向けて準備をする①
12	部分	園の保育計画を理解し、責任実習に向けて準備をする②
13	部分	園の保育計画を理解し、責任実習に向けて準備をする③
14	部分	園の保育計画を理解し、責任実習に向けて準備をする④
15	部分	職員間の役割分担とチームワークについて理解する
16	部分・責任	自らの実践を振り返り、課題を明確にする①
17	部分・責任	自らの実践を振り返り、課題を明確にする②
18	部分・責任	安全な環境や衛生管理、疾病予防等の配慮について理解する
19	部分・責任	子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ
20	部分・責任	幼稚園教諭としての職業倫理を具体的に学ぶ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	ピアノ演習Ⅱ			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	前期	2	演習
担当教員	北川 聖子・小林 美智子			
実務経験	-			

授業概要
この授業では、幼稚園教諭や保育士に必要な「弾き歌い」のためのピアノ演奏に関する知識や技術を修得するために、現場で使用される「季節のうた」・「生活のうた」・「行事のうた」を取り上げながら展開していく。また、とりわけ、「幼稚園実習」に向けて、実習月の「季節のうた」に重点を置きながら進めていく。
到達目標
右手で楽曲の旋律を、左手で適切な和音や分散の伴奏を付けることができるようになる。さらに、それぞれの楽曲の曲想を感じ取り、生き活きと楽しく「弾き歌い」ができるようになることを目標としている。
準備学習
<ul style="list-style-type: none"> 事前学習：授業で取り扱う曲を事前に読譜し、練習すること。 事後学習：授業の中で指摘された箇所を中心に、復習すること。 ※毎日30分～1時間程度の練習をすること。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 石橋裕子 他編『新 保育者・小学校教員のためのわかりやすい音楽表現入門』（北大路書房、2015） 尾林裕美子 他編『こどもの世界：保育のための歌と遊び』（ドレミ楽譜出版社、2021）
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要の説明、1年次の課題 1月～3月までの「季節のうた」の復習
2	1年次の復習とSC「基礎演習Ⅱ」	「生活のうた」/SC「基礎演習Ⅱ」の課題曲
3	1年次の復習とSC「基礎演習Ⅱ」	「行事のうた」/SC「基礎演習Ⅱ」の課題曲
4	1年次の復習と模擬保育①	6月の「季節のうた」◀あまだればったん>、模擬保育①
5	1年次の復習と模擬保育②	6月の「季節のうた」◀かえるの合唱>、模擬保育②
6	小テスト	「生活のうた」から弾き歌いを実施
7	幼稚園実習に向けての準備①	実習園からの課題曲 / 6月の「季節のうた」◀あめふりくまのこ> 他
8	幼稚園実習に向けての準備②	実習園からの課題曲 / 6月の「季節のうた」◀すてきなパパ> 他
9	幼稚園実習に向けての準備③	実習園からの課題曲 / 6月の「季節のうた」◀とけいのうた> 他
10	幼稚園実習に向けての準備④	実習園からの課題曲 / 6月の「季節のうた」◀大きな古時計> 他
11	幼稚園実習に向けての準備⑤	実習園からの課題曲 / 6月の「季節のうた」◀にじ> 他
12	幼稚園実習に向けての準備⑥	実習園からの課題曲 / 6月の「季節のうた」◀こやこやの天気予報> 他
13	幼稚園実習に向けての準備⑦	これまでの成果発表と模擬保育③ 他
14	幼稚園実習報告会	幼稚園実習での音楽表現活動についての振り返り、定期試験対策
15	まとめ	定期試験（実技試験）、科目のまとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	ピアノ演習Ⅱ			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	前期	2	演習
担当教員	中野 由紀子・吉田 裕佳子			
実務経験	幼稚園教諭としての実務経験を有する。			

授業概要	
<p>1年次で学んだ音楽の基礎知識やピアノの演奏技術を基にして、保育士として必要な表現力を更に磨く。器楽を軸とした音楽活動（合奏、アンサンブル）にも取り組む。学生個々のレベルに応じた個別指導も引き続き行い、こどもの歌のレパートリーを拡げていく。</p>	
到達目標	
<p>①保育士としての音楽技術について理解し、発展できる。 ②それぞれのレベルに応じたこどもの歌のピアノ伴奏や弾き歌いの応用力を習得する。 ③保育士として自信をもって歌唱伴奏を務めることができる。④アンサンブルの基礎を理解する。</p>	
準備学習	
<p>受講時に学んだ音楽の知識を復習し、それぞれに与えられた課題曲の練習を行う。配布プリントはスクラップブックにまとめる。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>	

使用テキスト	こどもの指導法「音楽表現」 母とおさなごの歌 配布プリント
--------	-------------------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要の説明、1年次の復習
2	楽典の発展	コードネーム、伴奏付け
3	春のうた①	こいのぼり、あめふりくまのこ
4	春のうた②	おつかいありさん、森のくまさん
5	小テスト	第4回までに学習した曲から実施
6	生活のうた①	あくしゅでこんにちは、せんせいとおともだち
7	生活のうた②	朝のうた
8	夏のうた①	アイアイ、お化けなんてないさ
9	夏のうた②	とんでったバナナ、アイスクリームのうた
10	小テスト	第5回～第9回までに学習した曲から実施
11	生活のうた③	さよならのうた
12	行事のうた①	ともだち賛歌
13	行事のうた②	ともだちになるために
14	成果発表会	これまでの復習と振り返り
15	まとめ	科目のまとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名	ピアノ演習Ⅲ			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼保コース	後期	2	演習
担当教員	北川 聖子・小林 美智子			
実務経験	-			

授業概要
この授業では、前期の「ピアノ演習Ⅱ」の授業を踏まえ、引き続き幼稚園教諭や保育士に必要な「弾き歌い」のためのピアノ演奏に関する知識や技術を修得するために、現場で使用される「季節のうた」・「生活のうた」・「行事のうた」を取り上げながら展開していく。また、「保育実習」に向けて、適切な楽曲にも取り組む。
到達目標
右手で楽曲の旋律を、左手で適切な和音や分散の伴奏を付けることができるようになる。さらに、それぞれの楽曲の曲想を感じ取り、生き活きと楽しく「弾き歌い」ができるようになることを目標としている。
準備学習
<ul style="list-style-type: none"> 事前学習：授業で取り扱う曲を事前に読譜し、練習すること。 事後学習：授業の中で指摘された箇所を中心に、復習すること。 ※毎日30分～1時間程度の練習をすること。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・石橋裕子 他編『新 保育者・小学校教員のためのわかりやすい音楽表現入門』（北大路書房、2015） ・尾林裕美子 他編『こどもの世界：保育のための歌と遊び』（ドレミ楽譜出版社、2021）
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要の説明、前期の復習（「生活のうた」）など
2	保育実習に向けての準備①	10月の「季節のうた」<おばけなんてないさ>、手遊びうた、動物のうた 他
3	保育実習に向けての準備②	10月の「季節のうた」<山の音楽家>、手遊びうた、動物のうた 他
4	保育実習報告会	保育実習での音楽表現活動についての振り返り 他
5	秋のうた①	11月の「季節のうた」<まつぼっくり> 他
6	秋のうた②	11月の「季節のうた」<きのこ> 他
7	冬のうた①	12月の「季節のうた」<きよしこの夜> 他
8	冬のうた②	12月の「季節のうた」<サンタが街にやってくる> 他
9	小テスト	第2回～第8回までの中で学習した曲から弾き歌いを実施
10	伝統行事のうた①	1月の「伝統行事のうた」<お正月>、2月の「伝統行事のうた」<豆まき>
11	伝統行事のうた②	3月の「伝統行事のうた」<うれしいひなまつり> 他
12	春のうた①	3月の「季節のうた」<思い出のアルバム> 他
13	春のうた②	4月の「季節のうた」<先生とおともだち>、<ともだちになるために>
14	成果発表会	これまでの成果発表と振り返り
15	まとめ	科目のまとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名				
レクリエーション理論と実技 I				
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年幼児保コース	後期	2	演習
担当教員	渡辺 建			
実務経験	-			

授業概要	
<p>子どもが自由で主体的に遊ぶために支援する大人のあり方を考える。①遊びが人間の生活と文化を生み出す土台であること、②子どもには「遊ぶ権利」があるが十分に実現できていないこと、③子どもの遊びを支援する「レイワーク」が必要であること、④さまざまな遊びの素材を実体験し、楽しむ方法を学ぶ。</p>	
到達目標	
<p>①遊びの意味と価値を理論的に説明できる。②「子どもの遊ぶ権利」とそれを実現する社会運動を理解する。③遊びの支援には3種類の方法があることを知る。④遊びのプログラムを組み立て、それを実施する方法とリスクへの対処法を学ぶ。⑤多種多様な遊びを実際に体験し、支援のスキルを身につける。</p>	
準備学習	
<p>①自らの遊び経験を振り返る。②実習先での遊び体験を通して考える。③就職先の保育方針に従って自由で自主的な遊びにできるように工夫する。④自らが遊びの支援者（プレイワーカー）になることを自覚する。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>	

使用テキスト	『プレイワーク入門』（園田碩哉編著 アネスト出版 2022年）
--------	---------------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	子どもの遊ぶ力を支援するプレイワーク	オリエンテーション
2	子どもの遊びを支援する3つの方法	指導と支援 個人支援・集団支援・環境支援
3	個人支援	信頼関係づくり コミュニケーションスキル★
4	集団支援	仲間との安心感・達成感 ★
5	演習：協働する遊び	競争する遊び、競争しない遊び／協働する遊び ★
6	子どもを取り巻く社会環境	子どもの「遊ぶ権利」 忘れられた権利 子どもの権利条約
7	遊びとは？	子どもにとっての遊び・学び・育ち
8	演習：自然遊び	自然遊び、工作遊び ☆
9	遊びの分類	遊びの学説 IT時代の子どもの遊び
10	演習：伝承遊び	技のある遊びの習得 ★
11	遊びを仕掛ける	主役で入って脇役で抜けろ C S S プロセス
12	プレイワーカーの役割	子どもの遊びに関わる大人の在り方 省察的实践家
13	リスクマネジメント	遊びの行事づくり 危険予知訓練
14	環境支援	遊びの環境づくり（遊び場のデザイン）
15	まとめ	科目まとめ

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <こども保育福祉学科>

科目名				
レクリエーション理論と実技 I				
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
こども保育福祉学科	2年保育士コース	後期	2	演習
担当教員	渡辺 建			
実務経験	-			

授業概要	
<p>子どもが自由で主体的に遊ぶために支援する大人のあり方を考える。①遊びが人間の生活と文化を生み出す土台であること、②子どもには「遊ぶ権利」があるが十分に実現できていないこと、③子どもの遊びを支援する「レイワーク」が必要であること、④さまざまな遊びの素材を実体験し、楽しむ方法を学ぶ。</p>	
到達目標	
<p>①遊びの意味と価値を理論的に説明できる。②「子どもの遊ぶ権利」とそれを実現する社会運動を理解する。③遊びの支援には3種類の方法があることを知る。④遊びのプログラムを組み立て、それを実施する方法とリスクへの対処法を学ぶ。⑤多種多様な遊びを実際に体験し、支援のスキルを身につける。</p>	
準備学習	
<p>①自らの遊び経験を振り返る。②実習先での遊び体験を通して考える。③就職先の保育方針に従って自由で自主的な遊びにできるように工夫する。④自らが遊びの支援者（プレイワーカー）になることを自覚する。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験90%、小テスト10%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>	

使用テキスト	『プレイワーク入門』（園田碩哉編著 アネスト出版 2022年）
--------	---------------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	子どもの遊ぶ力を支援するプレイワーク	オリエンテーション
2	子どもの遊びを支援する3つの方法	指導と支援 個人支援・集団支援・環境支援
3	個人支援	信頼関係づくり コミュニケーションスキル★
4	集団支援	仲間との安心感・達成感 ★
5	演習：協働する遊び	競争する遊び、競争しない遊び／協働する遊び ★
6	子どもを取り巻く社会環境	子どもの「遊ぶ権利」 忘れられた権利 子どもの権利条約
7	遊びとは？	子どもにとっての遊び・学び・育ち
8	演習：自然遊び	自然遊び、工作遊び ☆
9	遊びの分類	遊びの学説 IT時代の子どもの遊び
10	演習：伝承遊び	技のある遊びの習得 ★
11	遊びを仕掛ける	主役で入って脇役で抜けろ C S S プロセス
12	プレイワーカーの役割	子どもの遊びに関わる大人の在り方 省察的实践家
13	リスクマネジメント	遊びの行事づくり 危険予知訓練
14	環境支援	遊びの環境づくり（遊び場のデザイン）
15	まとめ	科目まとめ

